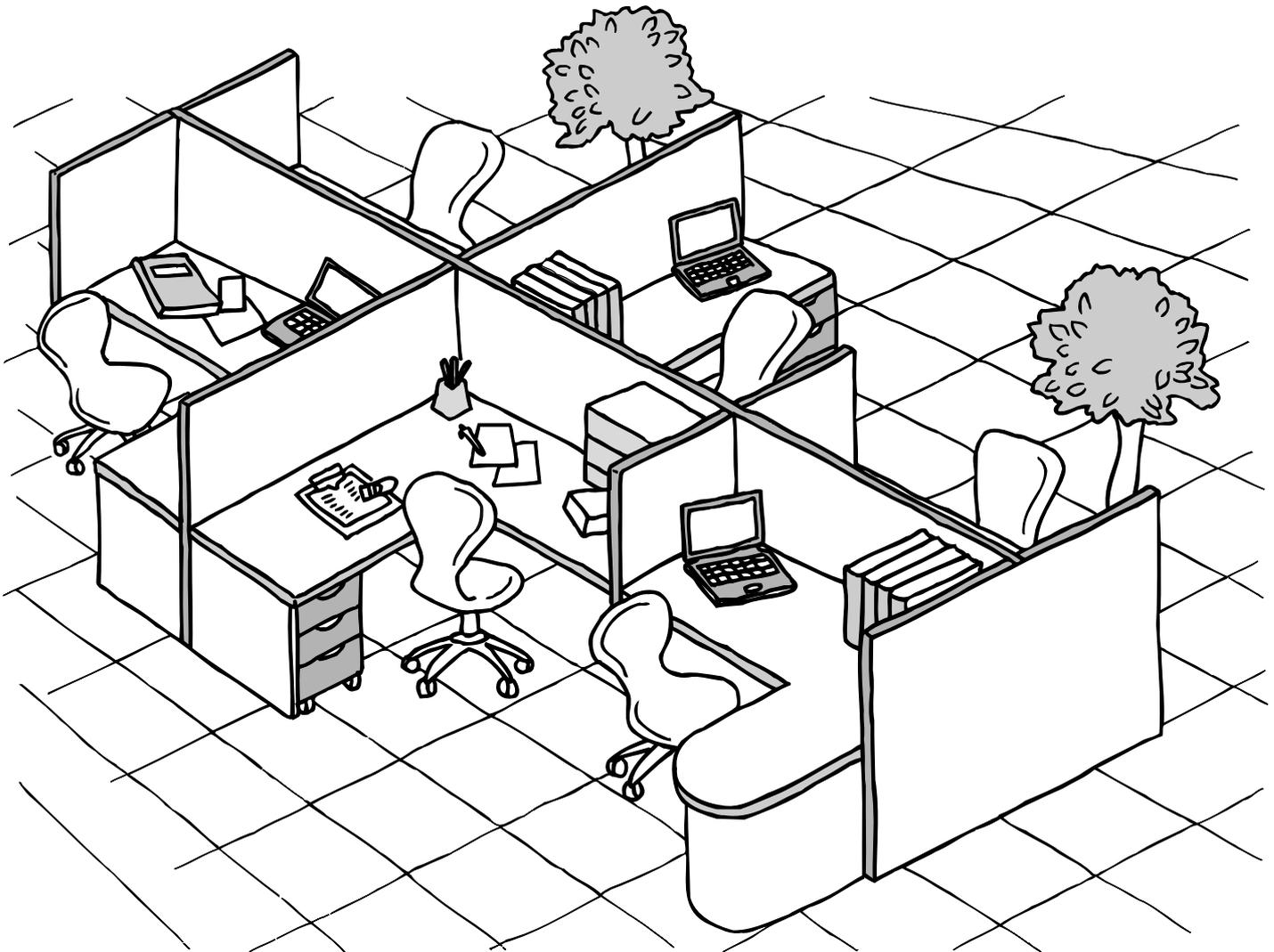


Panasonic®

取扱説明書 (インターネットファクシミリ編) ファクシミリ

品番 UF-6030



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に『取扱説明書（ファクス編）』の「安全上のご注意」（8～11ページ）を、必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

お使いになる前に

設
定
編

基
本
編

応
用
編

必要な時にお読みください

目次

お使いになる前に

LAN ケーブル、回線コードの接続.....	5
コントロールパネルの説明	6
インターネットに接続するための事前準備	8
■ SMTP 転送としての設定.....	10
■ POP クライアントとしての設定	12
■ 記載内容説明.....	15
インターネット通信について.....	16
■ インターネットファクス通信.....	16
■ ダイレクト SMTP	17
■ インターネットメール受信	18
■ ルーティング.....	19
■ メモリー転送.....	20
■ ネットワークスキャナー	21
■ ネットワークプリンター	22
■ LAN 中継同報.....	23
■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	24
■ SMTP 認証.....	24
インターネット通信における留意点.....	25

設定編

自局情報（インターネットパラメーター）の登録.....	28
■ 自局情報（インターネットパラメーター）の登録設定	28
■ 自局情報の種類（インターネットパラメーター）.....	30
システム登録.....	32
■ 概要	32
■ システム登録の設定	32
■ システム登録表.....	34
誤送信防止（E メール）	41
■ 概要.....	41
■ 複数宛先指定の禁止	41
■ 宛先確認	41
■ 直接 E メールアドレス制限	42
■ 直接 E メールアドレス再入力	42

基本編

LAN を使って送信する	43
■ 概要	43
■ インターネットに接続するためには	43
■ 直接メールアドレスを入力して送る	44
便利な機能	45
■ ワンタッチボタンで送る	45
■ 短縮ダイヤルで送る	46
■ 電話帳機能で送る	47
■ 一度にたくさんの相手に送る（同報送信）	49
■ メモリー送信予約（マルチタスク）	51
■ セレクトドメイン	54
■ 送達確認要求（MDN）	56
■ エラーメール	57
■ メーリングリストを使う	58
LAN を使って受信する	59
■ 概要	59
■ POP サーバーからメール受信	61

応用編

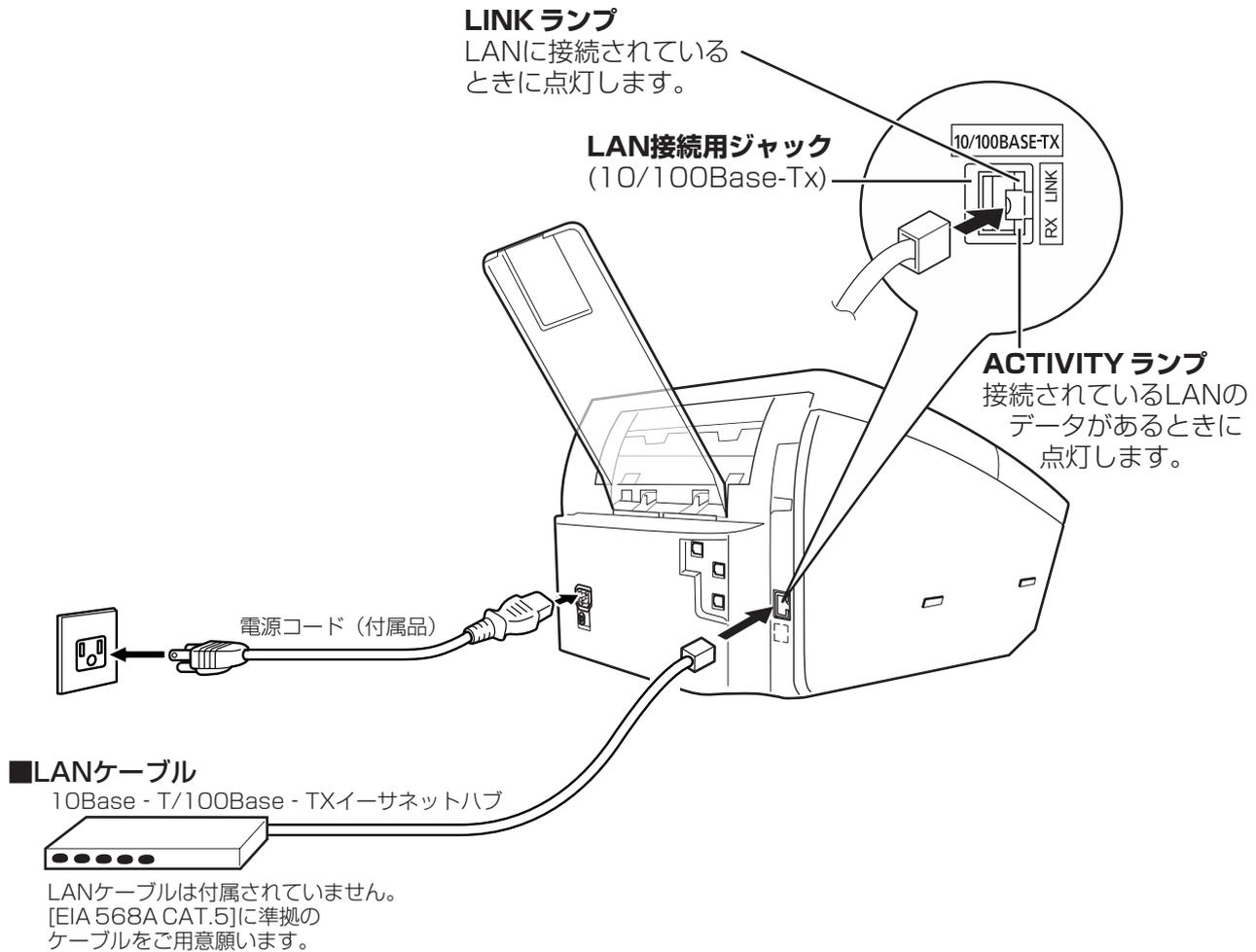
FROM 選択機能	65
■ 概要	65
■ FROM 選択機能の設定	65
■ 送信元を選択して原稿を送信する	67
■ FROM 選択リストを印刷する	68
件名の入力	69
■ 概要	69
■ 件名を入力して送信する	69
受信ルーティング	71
■ ルーティング・パラメーターの設定	71
■ ルーティングの登録	72
プログラム機能	74
■ POP アクセスボタンの登録	74
■ POP アクセスボタンによる POP 受信	75
送達確認	76
■ 概要	76
ネットワークスキャナー	77
■ 概要	77

ネットワークプリンター	78
■ 概要	78
LAN 中継同報	79
■ 概要	79
■ 中継ネットワーク	82
■ LAN 中継送信局としての設定	85
■ LAN 中継指示の設定	87
■ LAN 中継送信	89
■ パソコンからの LAN 中継同報指示	92
■ LAN 中継同報の通信結果	94

必要なおきにお読みください

こんなときには	98
■ エラーコード	98
用語集	100

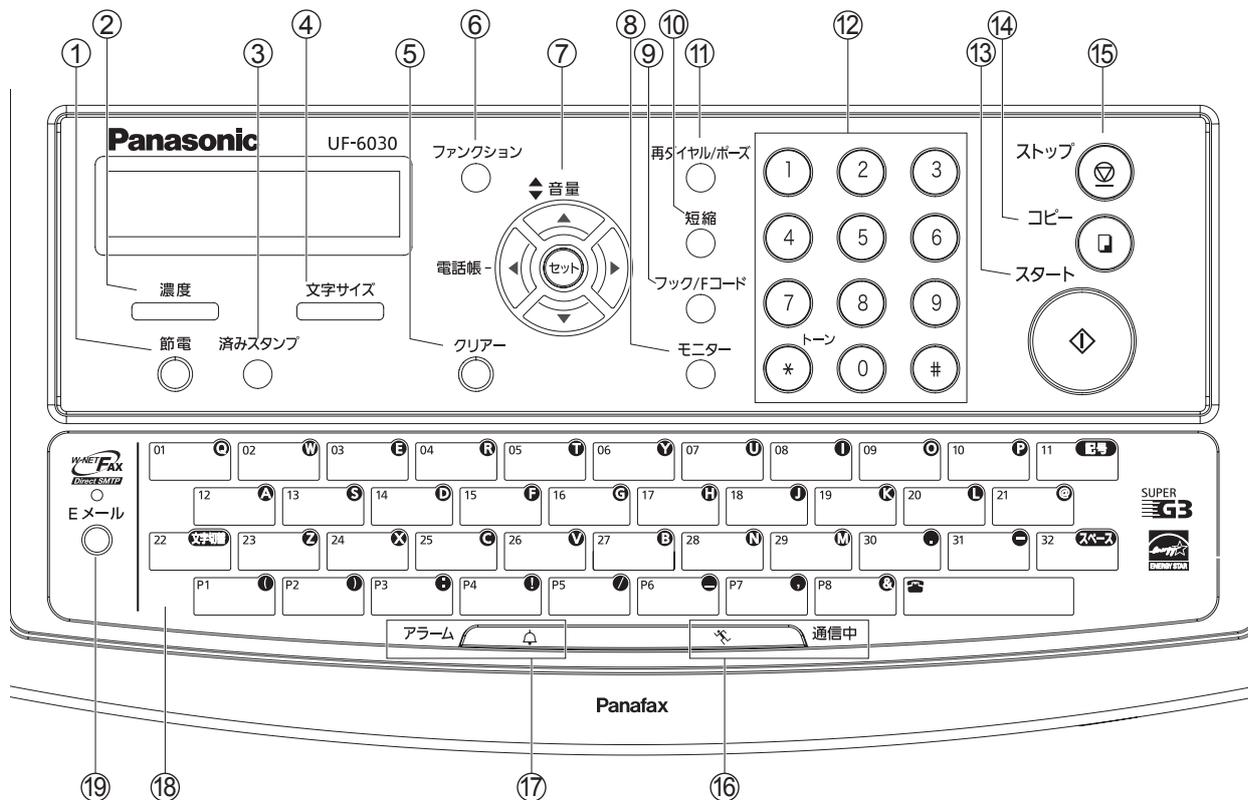
LAN ケーブル、回線コードの接続



お知らせ

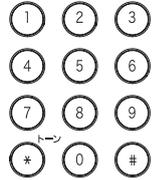
1. 本機の電力消費はわずかですので、常に電源を ON (コードを差し込んだ状態) にしておくことをお勧めします。電源 OFF の状態が長引けば時計部のデータが失われる可能性があります。

コントロールパネルの説明



No.	アイコン	機能	No.	アイコン	機能
①		- 本機を低電力モードに切り替えます。	②		- 文書の濃度を、ふつう・濃く・薄くの3段階に調節します。
③		- 済スタンプ（オン、オフ）を選択します。「オン」の場合、点灯します。	④		- 文書の文字サイズふつう、小さい、細密の3段階に切り替えます。 また、ハーフトーン（小さい、細密）への切り替えも行います。
⑤		- すでに設定されている内容をリセットします。 また、入力した文字や数字を訂正するときにも使用します。	⑥		- 各種機能を選択・開始します。
⑦		矢印ボタンは以下の用途があります。 - 各種の設定を行う。 - 宛先の名前の検索。（☛47ページ） - 画面や呼出音量の調節。 - 文字や番号などの入力の際にカーソルを移動させる。 - 電話帳検索ダイヤル用に登録済みの宛先を検索する。 - 複数宛先送信用に入力された各宛先を確認する。 - 回線に接続されている本機の現在の通信モード（ページ番号、ID、宛先の電話番号、ファイル番号）を確認する。			

コントロールパネルの説明

No.	アイコン	機能	No.	アイコン	機能
⑧		- オンフックダイヤルをするときに使用します。	⑨		- 通話中に一瞬回線を切断したい時に押します。 構内交換機に接続されている場合、転送や保留をする時にお使いください。 また、Fコード（サブアドレス）を入力する時に押します。
⑩		- 短縮ダイヤルによる通信を開始します。 (☛46ページ)	⑪		- 直前の宛先に再ダイヤルします。もしくは、電話番号を登録中またはダイヤル中にポーズを入れます。
⑫		<p>テンキーボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> - 手動での番号入力に使用します。入力された電話番号およびその他の数値情報は記録されます。 <p>トーンボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> - ダイヤル方式がパルスモードに設定されている場合に、一時的にプッシュホン信号へと切り替えます。IPアドレスのピリオド入力にも使用でき、便利です。 			
⑬		- コピーや送受信を開始するときに押します。	⑭		- コピー機能を利用するときに押します。
⑮		- 送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。	⑯		<p>通信中ランプ (緑)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 点滅：本機が動作中のとき - 点灯：受信データがメモリーにあるとき。
⑰		<p>アラームランプ (赤)</p> <p>本機の異常状態を点灯／点滅で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 点灯：トナーなし、紙づまりやマシンエラー (E##) などで動作停止のとき、用紙カセットに用紙が入っていないとき - 点滅：本機が警告状態になったとき (動作は停止しません) トナーの残量が少ない、オプションの250枚増設給紙ユニットをお使いになっていて片方の用紙カセットに用紙がないとき。 			
⑱		<p>ワンタッチボタン (01~32)</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワンタッチダイヤルに使用します (☛45ページ)。 <p>プログラムボタン (P1-P8)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 一連のダイヤル操作やグループダイヤルボタン操作を登録します。(☛74ページ) <p>文字ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワンタッチボタンおよびプログラムボタンは文字や記号を入力するためのボタンとして使います。 自局発信元名称や数字ID、局名を記録できます。 ☐号 - 自局のLOGOや数字ID、局名、メールアドレスを入力するときに使います。 ▼または▲を使って文字を選択できます。 スペース - 発信元名称や数字ID、局名、メールアドレスを入力する際に、スペースの入力に使用します。 文字切替 - 文字入力時に、文字入力モードを切り替えるときに押します。 			
⑲		- Eメール (インターネットファクス通信) 用です。 メールアドレスと電話番号入力を切り替えるときに押します。			

インターネットに接続するための事前準備

本機をネットワークに接続される前に、この章をご覧ください。ことにより各機能についてのご理解がますます深まります。

本機を、10Base-T/100Base-TX イーサネット LAN（ローカルエリアネットワーク）へ接続すると以下のようなことができます。

- 原稿情報を E メールで送信する
- インターネットファクスのメッセージを送信する（ダイレクト SMTP 送信）
- E メールを自動的に受信し、印刷する
- G3 ファクスもしくは E メールで受信したものを、あらかじめ設定したメールアドレスもしくは通常の G3 ファクスへ自動的に転送する（☛ファクス編 103 ページ「メモリー転送」）
- G3 ファクスから受信したものを ITU-T のサブアドレスを使って、発信者が指定したメールアドレスもしくは G3 ファクスへ自動的にルーティングする（☛71 ページ「受信ルーティング」）
- E メールを通常のファクス送信として他のファクスへ中継する（☛89 ページ「LAN 中継送信」）
- ネットワークスキャナー、プリンターとして利用する

ここに記載した機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。**現在のネットワーク設定値については、お客様のシステム管理者へお問合せ願います。**

14 ページに添付されている事前準備表をコピーし、MAC (Media Access Control) アドレスを記入してから、表にある残りの項目を埋めていただきますようシステム管理者へご依頼願います。本機の MAC アドレスは、インターネット登録リスト（自局登録リスト）（**ファンクション** ⑥ ④ **セット**）を押して印刷されます。

インターネットに接続するための事前準備

本機は、SMTP 転送もしくは POP クライアントによる受信のいずれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の通り異なります。

機能	SMTP 転送	POP クライアント
原稿情報を E メールで送信	○	○
インターネットファクスのメッセージを DirectSMTP プロトコルにより送受信	○	×
Eメールの自動受信と印刷	○	○
Eメールの手動受信と印刷	×	○
受信したファクスもしくは Eメールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送（ルーティング）	○	○
Eメールからファクスへの中継	○	×

お知らせ

- SMTP 転送機能をご利用になるには、本機のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS (Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
例：Internet_Fax@fax01.panasonic.com
- 自動的に SMTP 転送もしくは POP 受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
- DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) をご使用の場合、インターネット登録リスト（自局登録リスト）の IP アドレスはシステム管理者に依頼してください。
- 本機が受信、印刷、転送、中継可能なメールは、テキスト本文と TIFF-F 形式画像の添付ファイルのみです。
- インターネット FAX ユニットが装着されている場合は、プリンタードライバーや各種ソフトウェアを利用できます。下記の Web サイトからダウンロードしてお使いください。
<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>

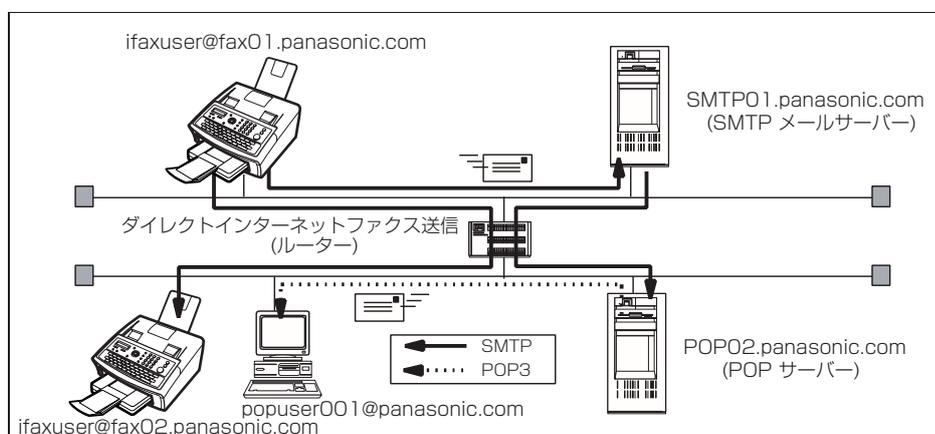
インターネットに接続するための事前準備

SMTP 転送としての設定

本機を SMTP 転送設定でご利用頂くには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

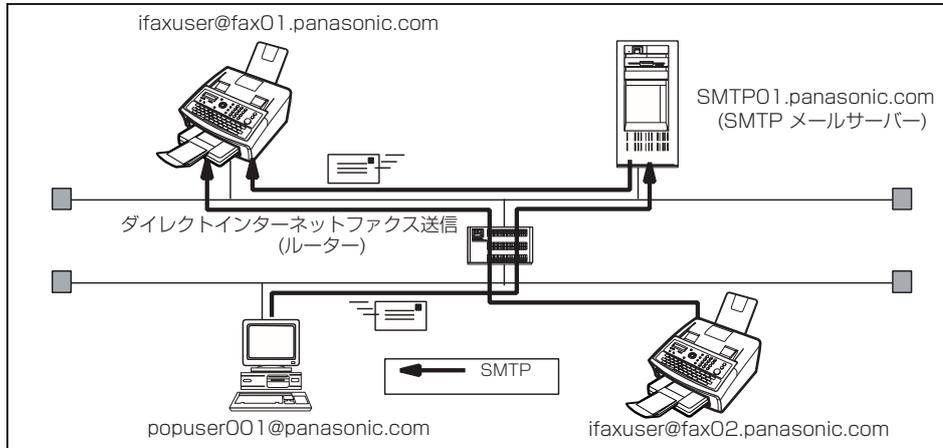
- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトゲートウェイの IP アドレス
- 本機のメールアドレス (お知らせを参照)
- ホスト名
- SMTP 認証名 (SMTP サーバーに認証が必要なとき)
- SMTP 認証パスワード (SMTP サーバーに認証が必要なとき)

メール (本機から PC へ) ならびにダイレクトインターネットファクス送信例



インターネットに接続するための事前準備

メール（PC から本機へ）ならびにダイレクトインターネットファクス受信例



お知らせ

1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本機のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS (Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
登録は「〇〇〇 @ ホスト名 ドメイン名」の形式で行います。
例：Internet_Fax@fax01.panasonic.com
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161 (DNS サーバー) (☛39 ページ) を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

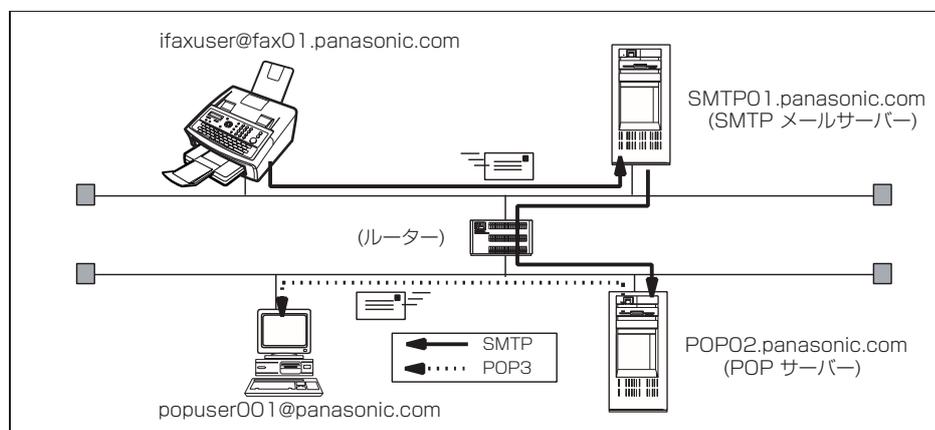
インターネットに接続するための事前準備

POP クライアントとしての設定

本機を POP クライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

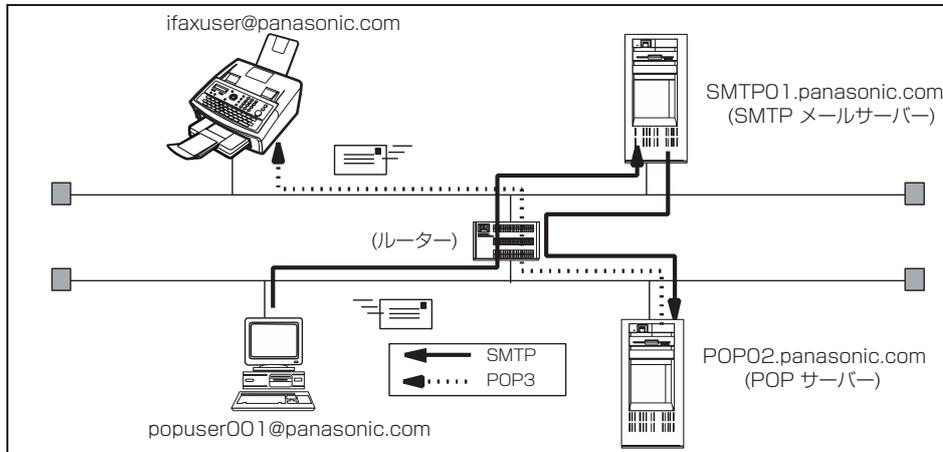
- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトゲートウェイの IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード
- 本機のメールアドレス (お知らせを参照)

メール送信例 (本機から PC へ送信)



インターネットに接続するための事前準備

メール受信例（PC から本機へ受信）



お知らせ

1. メールアドレス形式は、通常のメールアドレスと同じです。登録は「POP ユーザー名@ドメイン名」の形式で行います。
例：popuser001@panasonic.com
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161 (DNS サーバー) (●39 ページ) を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができますようになります。

インターネットに接続するための事前準備

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。システム管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

重要：このページ全体をコピーしてください。追加記入すべき情報は、システム管理者にお問い合わせください。記入が終了したら、本マニュアルの表紙裏にはさんでおき、適宜ご参照願います。

ユーザー情報		
社名		
住所		
部署名		
市	都府県	郵便番号
電話番号	ファクス番号	
自局情報リスト (インターネットパラメーター) (30 ページ参照)		
(1) 自局 IP アドレス :		
(2) サブネットマスク :		
(3) デフォルトゲートウェイ IP アドレス :		
(4) プライマリー DNS サーバー IP アドレス :		
(5) セカンダリー DNS サーバー IP アドレス :		
(6) 自局メールアドレス :		
(7) メールサーバー名 :	もしくは	メールサーバー IP アドレス :
(8) POP サーバー名 1 :	もしくは	POP サーバー IP アドレス :
(9) POP ユーザー名 1 :		
(10) POP パスワード 1 :		
(11) POP ユーザー名 2 :		
(12) POP パスワード 2 :		
(13) デフォルトサブジェクト :		
(14) ホスト名 :		
(15) デフォルトドメイン名 :		
(16) セレクトドメイン名 :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(17) リモートパスワード :		
(18) 中継用パスワード :		
(19) 管理者メールアドレス :		
(20) ドメイン名 (中継許可) :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(21) コミュニティ名 (地域名) (1) :		
(22) コミュニティ名 (地域名) (2) :		
(23) デバイス名 :		
(24) デバイスのロケーション :		

お知らせ

- (1)～(15)はシステム管理者から提供される情報です。
- DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の No.161 (DNS サーバー) を「アリ」にしてください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。
- Mac アドレスは、自局情報リスト (**ファンクション** ⑥ ④ **セット**) を押して印刷されます。
- POP サーバー名 2、POP ユーザー名 2、POP パスワード 2 は、システム登録の「178 デュアルサーバー」が「アリ」のとき登録できます。

インターネットに接続するための事前準備

記載内容説明

Mac アドレス	: 本機の Mac アドレスは、自局情報リスト (ファンクション ⑥ ④ セット) から知ることができます。
(1) 自局 IP アドレス	: 本機のインターネットプロトコル (IP) アドレス
(2) サブネットマスク	: サブネットマスク番号
(3) デフォルトゲートウェイ IP アドレス	: デフォルトゲートウェイの IP アドレス
(4) プライマリー DNS サーバー IP アドレス	: プライマリー DNS サーバーの IP アドレス
(5) セカンダリー DNS サーバー IP アドレス	: セカンダリー DNS サーバーの IP アドレス
(6) 自局メールアドレス	: 本機のメールアドレス (60 桁まで)
(7) メールサーバー名もしくはメールサーバー IP アドレス	: SMTP サーバー名 (60 桁まで)、SMTP サーバーの IP アドレス
(8) POPサーバー名もしくはPOPサーバーIPアドレス	: POP サーバー名 (60 桁まで)、POP サーバー IP アドレス
(9, 11) POP ユーザー名 1、2	: POP ユーザー名 (40 桁まで)
(10, 12) POP パスワード 1、2	: POP パスワード (30 桁まで)
(13) デフォルトサブジェクト	: 件名 (Subject) の部分に自動挿入される内容 (40 文字まで) 例: @yourcompany.com
(14) ホスト名	: ホスト名 (60 桁まで)
(15) デフォルトドメイン名	: メールアドレス省略時の付加ドメイン名 (50 桁まで)
(16) セレクトドメイン名	: メールアドレスを最大 10 アドレスまで登録して選択可能 (30 文字まで)
(17) リモートパスワード	: メールを使ったりリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード (10 桁まで)
(18) 中継用パスワード	: LAN 中継送信時の中継許可パスワード (10 文字まで)
(19) 管理者メールアドレス	: LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理として利用 (60 桁まで)
(20) ドメイン名 (中継許可)	: 中継許可ドメイン (30 桁まで)
(21) コミュニティー名 (地域名) (1)	: ソフトウェア (デバイスエクスプローラーなど) が使用するコミュニティー名 (32 文字まで)
(22) コミュニティー名 (地域名) (2)	: ソフトウェア (デバイスエクスプローラーなど) が使用するコミュニティー名 (32 文字まで)
(23) デバイス名	: ネットワーク・デバイス・ロケーター用のデバイス名 (32 文字まで)
(24) デバイスのロケーション	: ネットワーク・デバイス・ロケーター用のデバイス・ロケーション (32 文字まで)

お知らせ

1. IP アドレスはドットで 4 パートに区切られた数字の連なりです。

例: 165.113.245.2 ドットは または  を用いて入力できます。

インターネット通信について

インターネットファクス通信

原稿をインターネットファクスから相手先の PC、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。原稿は、メールの TIFF または PDF 形式の添付ファイルとして相手先の PC に送信されます。インターネットファクスからの簡単操作で相手先のメールアドレスへ送信できます。

PC 側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF もしくは PDF 形式の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。

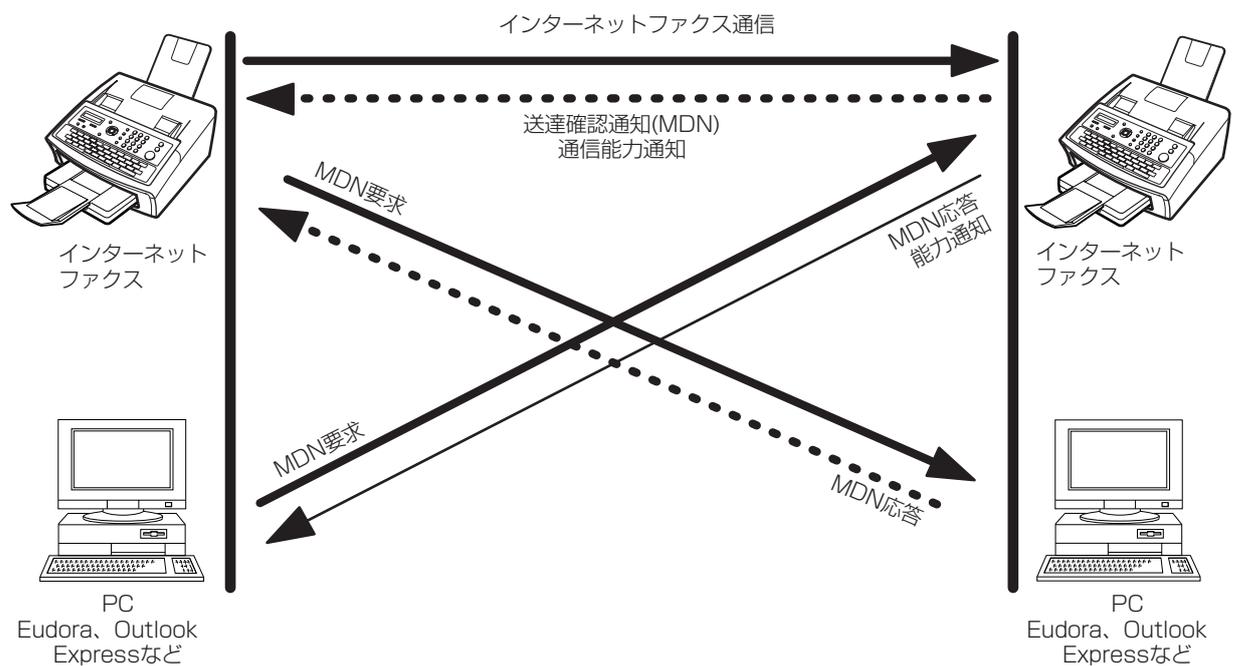
メールのメッセージはまず SMTP メールサーバーに送られ、その後メールサーバーからインターネットへと送られます。

インターネットファクス送達確認通知 (MDN)

インターネットファクスからの送信の到達を確認できます。ただし、受信者の側に送達（開封）確認通知 (MDN) の機能が備わっていないとなりません。

インターネットファクスからの送達確認通知要求に応答できるメールアプリケーションには、

Eudora® や Outlook® Express などがあります。MDN についての詳細は、各メールアプリケーション付属のヘルプやユーザーガイドを参照してください。



Eudora は QUALCOMM Incorporated の登録商標です。

矢印について：

- : 送信者からのMDN要求
- : 受信者からのMDN応答(通信能力通知付)
- ...→ : 受信者からのMDN応答

インターネット通信について

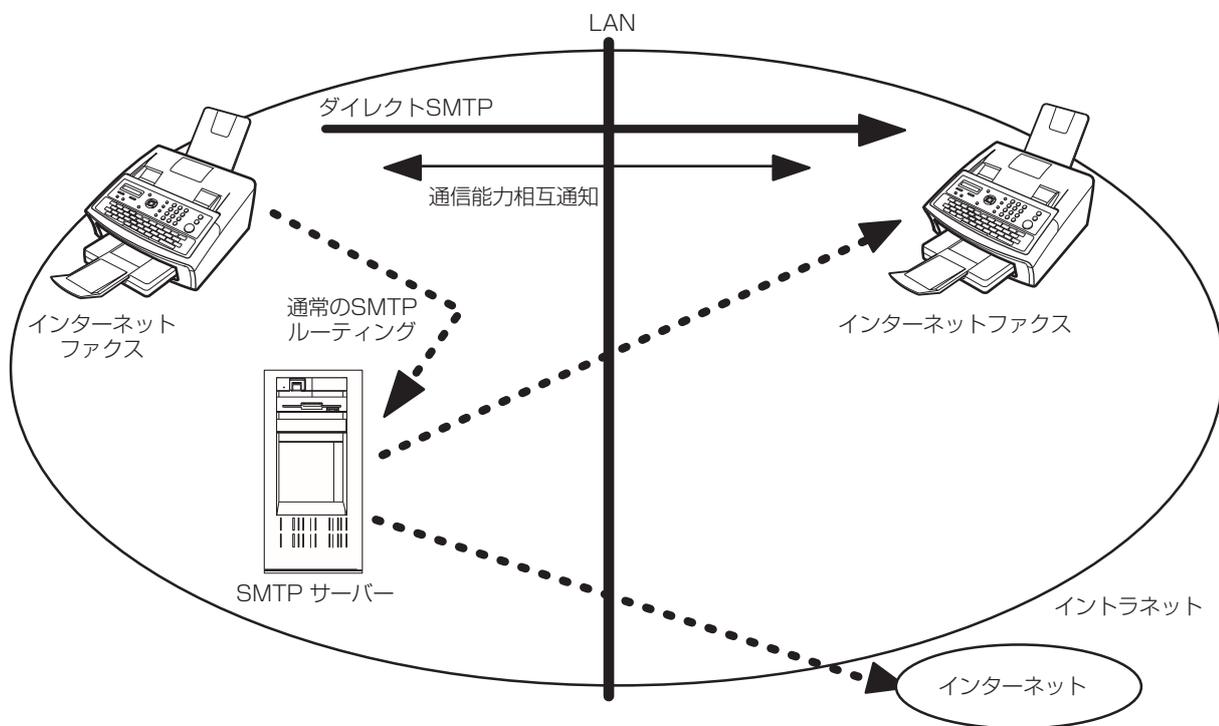
ダイレクト SMTP

インターネットのメールは SMTP メールサーバーが SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) によりやりとりしています。

ダイレクト SMTP は、SMTP メールサーバーを通さずに直接インターネットファクス間で文書交換するシステムです。このシステムを順調に働かせるには IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります (IP アドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください)。本機のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていないとなりません。

通常企業などのイントラネットでは、メールとホームページ閲覧しか許可されていません。これはファイアウォールの負担をシステム管理者が嫌うからです。

こういった場合、ダイレクト SMTP が活躍します。



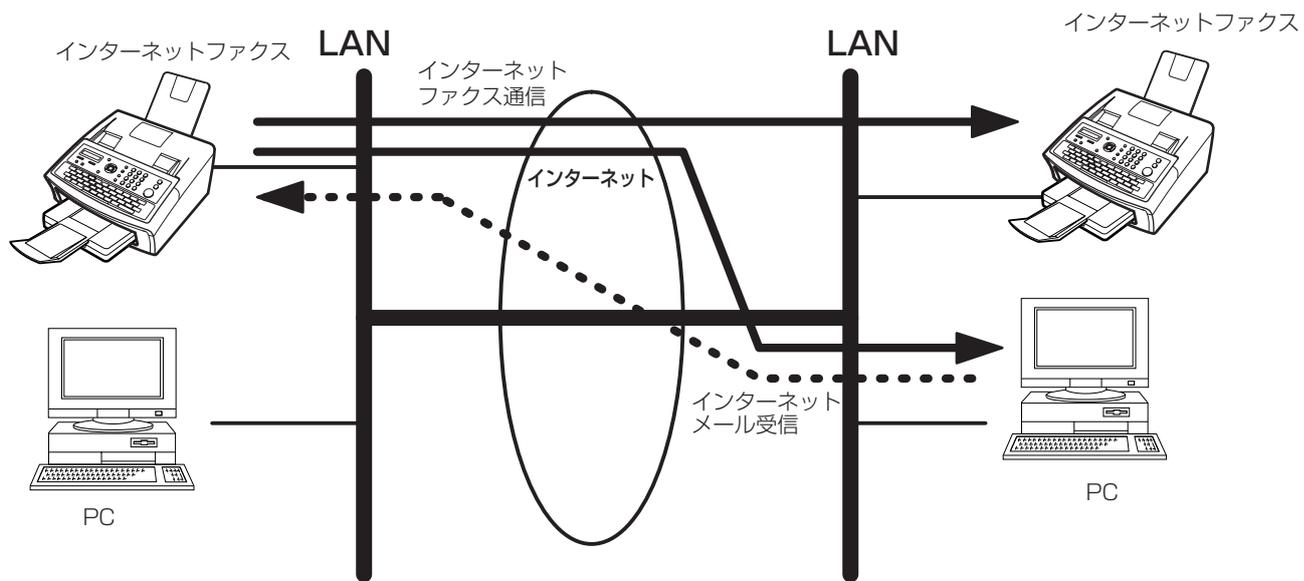
お知らせ

1. システム登録の「161 DNS サーバー」が「ナシ」のときは、メールアドレス指定の際は「@」以降を IP アドレスで指定しないと送信できません。

インターネット通信について

インターネットメール受信

PC からインターネットファクスに送られてきたメールを、設定により自動または手動でプリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF 形式以外の添付ファイル (Word、Excel[®]、PowerPoint[®] などのファイル) が送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。



インターネット通信について

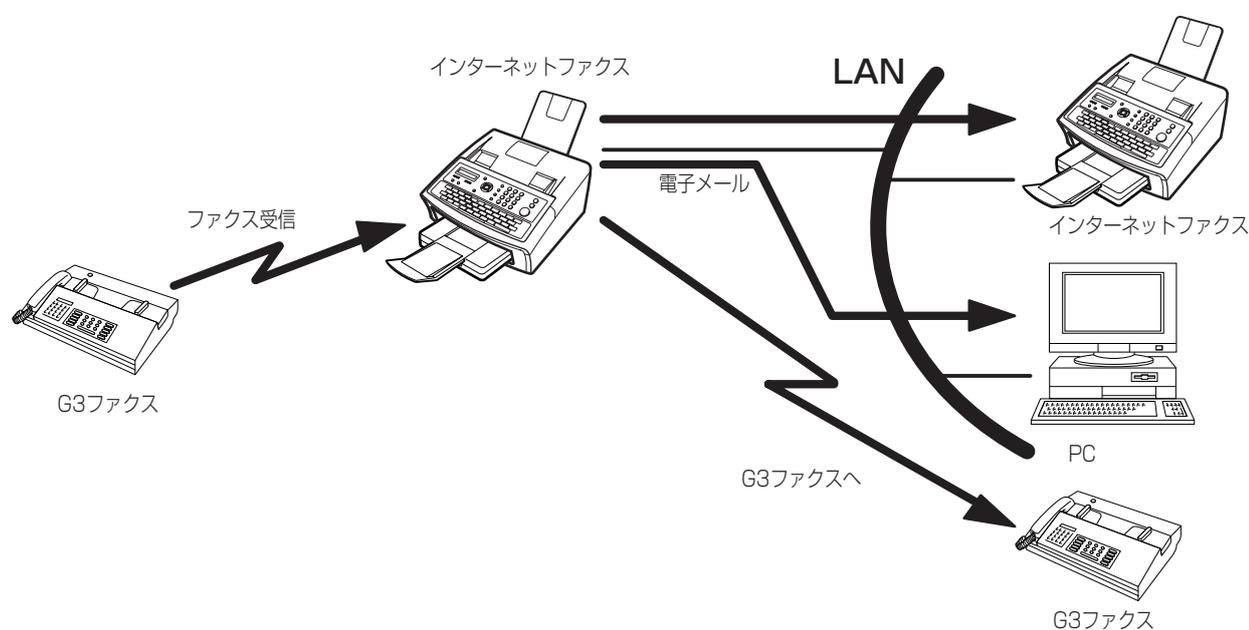
ルーティング

一般回線のファクスから受信した文書を、LANに接続したPCまたは、インターネットファクスにメール送信することができます。また、別の一般回線のファクスにファクス送信することもできます。

送信機のG3ファクスがFコード通信の指示機能がご利用できるファクスの場合、登録したサブアドレスを指示することで通信毎に宛先を選択して送信することができます。

またNTT、NTTコミュニケーションズと契約している場合、送信機のG3ファクスはナンバーディスプレイ（発信者番号通知）やモデムダイヤルインを使用して送信することができます。

1. Fコード通信に対応していないファクスの場合は、宛先を選択することはできませんが、数字IDを登録しておくことで送信機毎に個別の宛先に送信することができます。
2. ご利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、サービス実施会社にお問い合わせください。



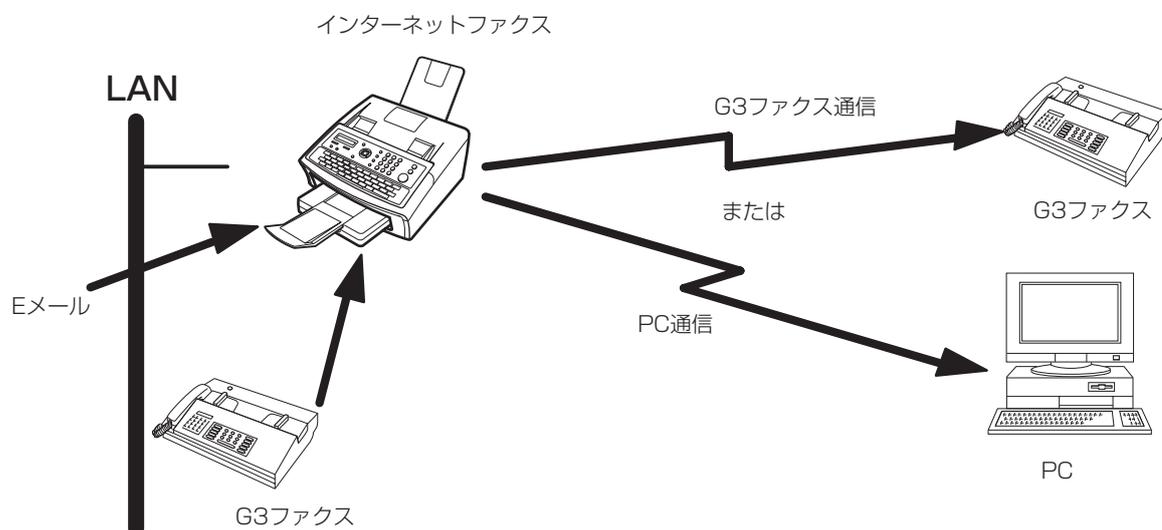
お知らせ

1. ファクス送信をしたファクスに上記のサブアドレス機能が備わっていない場合、サブアドレスの宛先は選べません。
2. 本機はメールアドレスと電話番号に同一のサブアドレス番号を登録することができます。また、ルーティング用に、複数のメールアドレス、ファクス番号、電話番号を短縮登録できます。

インターネット通信について

メモリー転送

インターネットファクスのメモリーに受信したメールやファクスを、あらかじめ設定した宛先（ファクスやPC）へ転送する機能です。



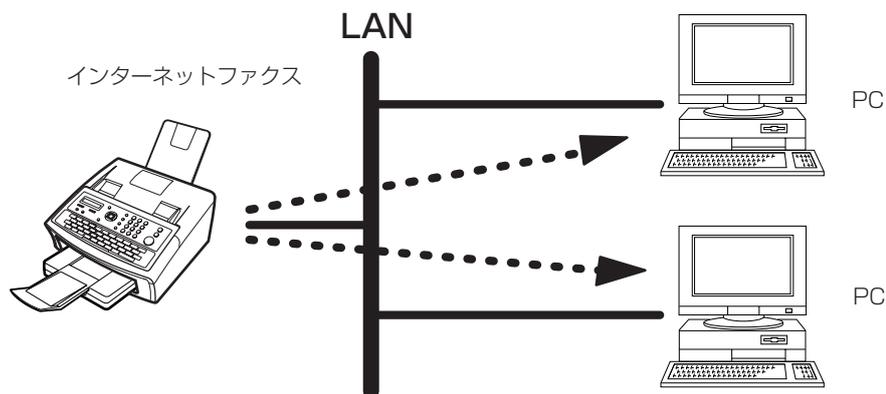
インターネット通信について

ネットワークスキャナー

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、原稿をインターネットファクスから PC へメール送信することにより、原稿の画像イメージを PC 側で見ることができます。

デフォルトドメイン・パラメーターとして設定されている、同じドメイン内の宛先に文書を送信するときにはヘッダーを含めるかどうかを指定するには、システム登録の No.164 (LAN 送信ヘッダー) を使います (● お知らせ 1)。



お知らせ

1. デフォルトドメイン外の宛先に文書を送信するときには LAN 送信ヘッダーの設定が「ナシ」になっていてもヘッダーを含めて送信されます。

インターネット通信について

ネットワークプリンター

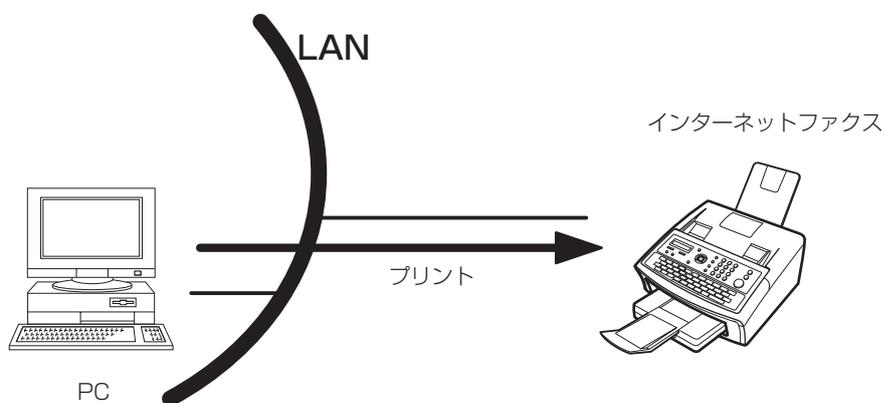
インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。

PCの各種アプリケーションで作成した書類をPCからの操作により、LANに接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ただし、ネットワークプリンター機能を利用するためには、ソフトウェア（プリンタードライバー）を下記のホームページからダウンロードして PC にインストールする必要があります。

プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。

ソフトウェアがダウンロードできるホームページ：

<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>



お知らせ

1. 本機をネットワークプリンターとして使用するためには、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ IP アドレスが登録されていなければなりません。

インターネット通信について

LAN 中継同報

LAN に接続したインターネットファクスや PC から送信したメールを、LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。メールには TIFF-F 形式のファイルを添付することができます。

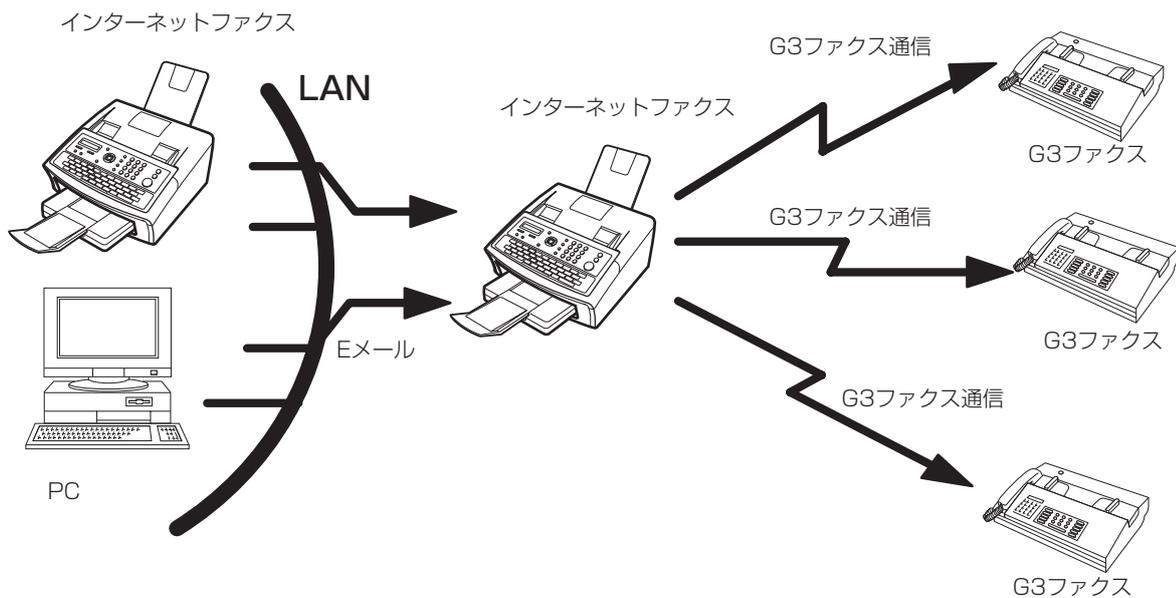
本機はまた、表計算ソフトなどの各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換してメールの添付ファイルとすることができます。

各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換するには、ソフトウェア（TIFF 変換プログラムおよび MAPI メールリンク）を下記のホームページからダウンロードして PC にインストールする必要があります。

各プログラムのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。

ソフトウェアがダウンロードできるホームページ：

<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>



インターネット通信について

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP というのは、インターネットファクスとクライアントの PC に IP アドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネットファクスは DHCP を使うとネットワークに接続する毎に自動的に固有の IP アドレスを取得でき、ネットワーク管理者の IP アドレス管理の手間が省けるようになります。ネットワークにログオンしたインターネットファクスに対して DHCP サーバーがマスターリストから選んだ IP アドレスを割り当てます。

本機において以下のオプションを可能にするには、DHCP は使わずに、ネットワーク管理者によって設定済の IP アドレスおよび環境設定を使う必要があります。

- SMTP 受信
- LAN 中継送信
- ダイレクト SMTP (ダイレクト SMTP 送信)

SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティーを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ (雑多なプロトコル、雑多なデバイス) の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティーは一般的に実現が困難。
2. インターネットファクスの標準規格が推奨する独占的な技術はない。

システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証技術は SASL (Simple Authentication and Security Layer) のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー (ISP) は、多くが何らかの認証方式を採用しています。

本機が提供する認証オプションは以下の通りです。

1. SMTP 認証拡張サービス (SMTP AUTH) — 接続時にアカウント名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法。
2. APOP 認証サービス (APOP) — Eメールの送受信に使われるパスワードを暗号化する方法。
3. POP before SMTP — 送信前に指定した POP3 サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、SMTP サーバーの使用許可を与える方法。

インターネット通信における留意点

インターネットファクスの留意点

インターネットファクスによる通信は基本的にメールと同様で、一般回線用のファクスによる通信とは異なります。

通常のファクス通信と異なる点は以下の通りです。

インターネットファクスと通常のファクスの相異点

通常のファクスは、受話器を取ってダイヤルして送ります。データは電話回線を介して相手側に届きます。回線使用の料金は送信者が負担します。ファクス同士接続されると、同期を取り、画像データを交換します。

一方、インターネットファクスは、メールに似ています。画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずに LAN からインターネットへ、もしくはイントラネットへと送信されます。したがって、長距離通話の経費を節減できます。

正常に送信されましたか？

1. インターネット通信は LAN 経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。したがって、何らかの原因で文書が正しく送信できなかった場合にのみ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。
2. 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間（通常 20 ～ 30 分）かかることがあります。
3. メールサーバーの調子により、エラーメールが返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話にてご確認願います。
4. 送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。

お知らせ

1. システム登録の 172（ダイレクト SMTP 送信）が「アリ」に設定されている場合、メールサーバーを経由せずに宛先に送信するように、「ワンタッチ／短縮」で設定することができます。
2. 本機には送達確認要求機能があります（●56 ページ）。

インターネット通信における留意点

LAN 経由での電話はできません

電話は一般回線（PSTN）でのみ使用できます。

デュアルポート通信

本機にはデュアルポート通信機能があります。LAN 経由の通信中でも、一般回線（PSTN）を使用したファクス通信ができます。

文字サイズ

文字サイズは、PC への送信を考慮して、お買い上げ時の設定を『小さい』にしてあります。

この設定は、使用する原稿に合わせて変更することができます。

インターネットメール受信

1. 本機は、PC からのメールを受信しますが、受信したデータのうち、英数字、ひらがな、カタカナと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
読み取り不能の文字は "■" と表示されます。
2. 受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
3. 受信データは、1 ページ約 72 行で出力します。
4. 受信したメールに TIFF-F 形式以外のファイル（Word、Excel、Power Point などのファイル）が添付されていた場合には、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。
5. 受信したメールに TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されていた場合には、テキストと画像を別々のページにプリントします。

LAN を介して PC に文書を送信する

メールで文書を送信する場合、TIFF-F 形式の画像ファイルのほかに以下のようなメッセージが宛先に届きます。

TIFF-F 形式の画像データが添付されています。

TIFF-F イメージビューアは以下のサイトから入手できます：

<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>

LAN 中継通信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するためには、ネットワーク・セキュリティーを設定します。LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名の設定を行ないます。また、LAN 中継通信全てを管理するために、管理者のメールアドレスを登録し通信管理レポートを受け取れるようにします。

メモ

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

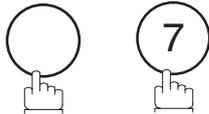
自局情報（インターネットパラメーター）の登録設定

設定開始前に 14 ページ「インターネットに接続するための事前準備」のコピーに所定の事項を記入し、ご用意願います。インターネットファクスをお使いになるには、以下の基本的なパラメーター 5 つを本機に事前に登録しておく必要があります。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ IP アドレス
- メールサーバー名もしくはメールサーバー IP アドレス
- メールアドレス

お知らせ： 本機が接続されるネットワークにおいて DHCP サーバーが利用可能な場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ IP アドレスは自動的に取得されます。

1 ファンクション



トウロク モード (1-4)
ハンコウヲ イレル マタハ ヴ ャ

2



1: ジキョク トウロク?
セット テ センタク

3



IP アドレスの画面になるまで繰り返し押す

▼または▲を押して画面をスクロールさせることもできます。

IP アドレス

4

テンキーボタンを使って IP アドレスを入力する

ドット "." を入力するには または * を押してください。(29 ページのお知らせ 2)

例：「123.178.240.3」を入力する。

IP アドレス
123.178.240.3

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

5



サブネット マスク

続けて自局情報の登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには「ストップ」を押します。

お知らせ

1. DNS サーバーが利用できない場合には、システム登録 No. 161（DNS サーバー）の設定を「ナシ」に変更し、IP アドレスを入力してください。
2. IP アドレスを入力するときにドット"."を入れるには または  を押してください。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

自局情報の種類（インターネットパラメーター）

LAN の構成次第により、最初に下記のパラメーターを適切に設定する必要があります（●8～15 ページ）。

	パラメーター	説明
1	時刻セット	現在の日付と時刻です。
3	発信元	最大 25 文字までです。
4	文字 ID	最大 16 文字までです。
5	数字 ID	本機のファクス番号（最大 20 字まで）です。
6	MAC アドレス	ネットワークでホスト識別のために設定されるハードウェアアドレスです（必要な場合 ファンクション ⑥ ④ セット を押すと自局情報リストがプリントアウトされます）。
7	IP アドレス	ネットワーク管理者もしくは DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスです。
8	サブネットマスク	ネットワーク管理者もしくは DHCP サーバーによって割り当てられたサブネットマスクです。
9	デフォルトゲートウェイ IP アドレス	ネットワーク管理者もしくは DHCP ADDR サーバーによって割り当てられたデフォルトゲートウェイ IP アドレスです。
10	DNS サーバー 1 IP アドレス	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスです。DNS サーバーがご利用になれない場合はシステム登録の No.161（DNS サーバー）を「ナシ」に変更し、代わりに IP アドレスを入力してください。
11	DNS サーバー 2 IP アドレス	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスです。
12	メールアドレス 1	本機に割り当てられたメールアドレス 1（最大 60 文字まで）です。
13	メールアドレス 2	本機に割り当てられたメールアドレス 2（最大 60 文字まで）です。
14	メールサーバー名 1	SMTP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
15	SMTP 認証名 1	SMTP メールサーバーの IP アドレスです。
16	SMTP 認証パスワード 1	本機に割り当てられたパスワード（最大 30 文字まで）です。
17	メールサーバー名 2	SMTP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
18	SMTP 認証名 2	SMTP メールサーバーの IP アドレスです。
19	SMTP 認証パスワード 2	本機に割り当てられたパスワード（最大 30 文字まで）です。
20	POP サーバー名 1	POP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
21	POP サーバー IP アドレス 1	POP メールサーバーの IP アドレスです。
22	POP ユーザー名 1	本機に割り当てられた POP ユーザー名（最大 40 文字まで）です。
23	POP パスワード 1	本機に割り当てられたパスワード（最大 30 文字まで）です。
24	POP サーバー名 2	POP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
25	POP サーバー IP アドレス 2	POP メールサーバーの IP アドレスです。
26	POP ユーザー名 2	本機に割り当てられた POP ユーザー名（最大 40 文字まで）です。
27	POP パスワード 2	本機に割り当てられたパスワード（最大 30 文字まで）です。
28	ホスト名	本機のホスト名（最大 60 文字まで）です。
29	デフォルトサブジェクト	メールの件名に自動挿入されるデフォルトの情報（最大 40 文字まで）です。この情報を手動で変えるには、システム登録の No. 159（サブジェクト登録）を「アリ」に設定します。
30	デフォルトドメイン	送信されようとしているメールアドレスが SMTP 標準からして不完全な場合に使用されるドメイン名です。メールアドレスに自動的に付加されます。これは手動でメールアドレスを入力する場合にも役立ちます（最大 50 文字まで）。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

	パラメーター	説明
31	セレクトドメイン	ドメイン名を 10 個まで登録できます。手動でメールアドレスを入力する際に "@" 入力後に (01)～(10) で選択できます（最大 30 文字まで）。
32	リモートパスワード	セキュリティパスワード。インターネットパラメーターやオートダイヤラー、あるいはメールによる通信管理レポートの取得について、リモート・プログラミングを可能にします（最大 10 文字まで）。
33	LAN 中継用パスワード	中継局（G3 中継専用）にネットワーク・セキュリティをもたらすパスワード（最大 10 文字まで）です。
34	管理者メールアドレス	LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理のための、管理者用メールアドレス（最大 60 文字まで）です。
35	中継許可ドメイン名	中継送信要求のために本機インターネットファクスにアクセスすることを許可されているドメイン名を 10 個まで入力できます（最大 30 文字まで）。
36	コミュニティ名 (1)、(2)	ソフトウェア（デバイスエクスプローラーなど）が使用するコミュニティ名です。(01)～(02)
37	デバイス名	ネットワーク・デバイス・ロケーターが使用するデバイス名です。
38	デバイスロケーション	ネットワーク・デバイス・ロケーターが使用するデバイス・ロケーションです。

* 自局情報はシステム管理者にお問い合わせください。

システム登録

概要

本機には様々なシステム登録の設定が可能となっています。

これらのシステム登録は、前もって調整してあり、変更する必要はありません。

また、文字サイズ、濃度などの設定は適時変更可能です。通信やコピー前に変更できます。

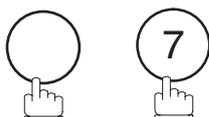
動作が終了すると、設定はホーム・ポジションに戻ります。

その他の設定は、以下の方法でのみ変更可能です。

システム登録の設定

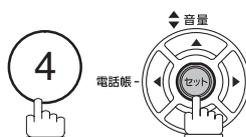
1

ファンクション



トウロク モード (1-4)
ハンコウヲ イレル マタハ ヴ Λ

2



システム トウロク (1-181)
NO.=■

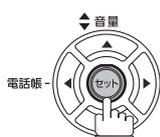
3

システム登録表を参照して選択する

例：「001」を選択する。

システム トウロク (1-181)
NO.=001

4



01 ノウト キリカエ
1: アツク

5

新しい設定数値を入力する

例：「2」を選択する。

01 ノウト キリカエ
2: ウスク

6



02 モジサイズ
2: チイザ

続けてシステム登録の設定ができます。▼または▲で設定する項目を選択し、手順 3 からの操作を繰り返します。待機状態に戻るには **ストップ** を押します。

お知らせ

1. 手順 3 または 4 でスクロールするには ▼ または ▲ を押します。
2. システム登録リストをプリントするにはファクス編 152 ページを参照ください。

システム登録

システム登録表

設定欄の「*」がついている項目は、お買い求め頂いたときに設定されている初期設定です。

設定	設定項目	設定値	設定	説明
001	濃度切替	1	普通*	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
		2	薄く	
		3	濃く	
002	文字サイズ	1	普通	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
		2	小さい*	
		3	細密	
		4	ハーフトーン (小さい)	
		5	ハーフトーン (細密)	
004	済スタンプ	1	オフ*	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。
		2	オン	
005	メモリー優先 (送信 / コピー)	1	オフ	「オフ」にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
		2	オン*	
006	ダイヤル切替	1	10PPS	ダイヤル種別を選びます。
		2	20PPS	
		3	プッシュ (PB)*	
007	発信元印字	1	画面内*	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。「ナシ」にすれば、発信元をプリントしません。
		2	画面外	
		3	ナシ	
008	発信元印字 フォーマット	1	発信元 ID	相手用紙にプリントする発信元のフォーマットを設定します。
		2	FROM TO*	
009	受信時刻プリント	1	ナシ*	「アリ」にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
		2	アリ	
010	ブザー音量	1	オフ	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
		2	小さい*	
		3	大きい	
012	通信結果レポート	1	オフ	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
		2	全て	
		3	未通信*	
013	通信管理レポート	1	ナシ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。「ナシ」にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
		2	アリ*	
017	受信モード	1	手動	ファクスの受信のしかたを選びます。
		2	FAX 専用*	
		3	FAX/TEL 切替	
		4	留守録接続	
018	F/T ベル回数	1	3 回	受信モードを「FAX/TEL 切替」にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音を鳴らす回数を設定します。
		2	6 回	
		3	9 回*	
		4	12 回	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
019	応答メッセージ時間	1	1 秒	外付けの留守番電話機の応答メッセージの長さに合わせて設定します。 初期設定は 20 秒に設定されています。
		～	～	
		60	60 秒	
020	無音検知	1	ナシ*	「アリ」にすると、用件を録音している間に約 6 秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。
		2	アリ	
021	着信ベル回数	0	0 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。 初期設定は 1 回に設定されています。
		～	～	
		9	9 回	
022	代行受信	1	ナシ	用紙が切れたり、トナーが無くなったり、紙づまりとなった場合、メモリーで代行受信をするとき「アリ」にします。
		2	アリ*	
023	用紙サイズ	1	A4*	用紙カセットにセットする用紙サイズを設定します。
		2	レター	
		3	リーガル	
024	縮小受信	1	固定	縮小受信の設定をします。 固定 ：No. 025 の設定した縮小率で受信します。 自動 ：受信した原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動*	
025	固定縮小率	70	70%	No. 024 で縮小受信を「固定」にしたときの縮小率を設定します。
		～	～	
		100	100%	
026	ポーリングパスワード		(---)	ポーリング通信をするときに使う 4 桁のパスワードです。
027	ポーリングファイル保存	1	ナシ*	「アリ」にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
		2	アリ	
028	メモリー済スタンプ	1	ナシ	「ナシ」にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
		2	アリ*	
031	未通信ファイル保存	1	ナシ*	「アリ」にすると未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
		2	アリ	
032	縮小コピー	1	手動	コピーするときの縮小設定を選択します。 手動 ：縮小率を指定します。(70～100%) 自動 ：原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動*	
034	節電モード	1	オフ	節電モードの設定を行いません。「低電力モード」を選択した場合、待機状態から低電力モードに移行するまでの時間を設定できます。(1～120分) 初期設定は 1 分に設定されています。 インターネットファクスユニットオプション装着時はオフモードが選択できなくなります。
		2	低電力モード*	
		(3)	(オフモード)	
037	メモリー受信		(---)	セレクトモードのメモリー受信 (F8-5) を設定している場合、受信した原稿を印刷するときのパスワードを設定します。メモリー受信を設定すると、この設定は画面上に表示されません。(●ファクス編 97 ページ)

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
038	アクセスコード		(----	第 3 者の使用を制限するときに、8 桁のアクセスコードを設定します。
042	親展ファイル保存	1	ナシ*	親展文書をポーリングされた後もメールボックスに残すときに「アリ」にします。
		2	アリ	
043	パスワード送信	1	オフ*	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(●ファクス編 108 ページ)
		2	オン	
044	パスワード受信	1	オフ*	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(●ファクス編 109 ページ)
		2	オン	
046	セレクト受信	1	ナシ*	「アリ」にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。(●ファクス編 105 ページ)
		2	アリ	
047	リモート受信	1	ナシ	「アリ」にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
		2	アリ*	
051	遠隔診断	1	ナシ*	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
		2	アリ	
053	サブアドレスパスワード		(----	サブアドレス通信を行なうときのパスワードを設定します。(最大 20 桁)
054	メモリー転送	1	ナシ*	「アリ」にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先をセットできます。(●ファクス編 103 ページ)
		2	アリ	
056	カバーシート	1	オフ*	カバーシートの通常お使いになる設定を選択します。(●ファクス編 100 ページ)
		2	オン	
065	正順プリント	1	ナシ	正順プリントを行なう場合は「アリ」にします。(●ファクス編 68 ページ)
		2	アリ*	
068	ダイヤルトーン検知	1	ナシ	お客様の加入されている電話回線の種別を検知します。
		2	アリ*	
072	音声応答	1	ナシ*	"FAX/TEL 切替" にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音だけ相手に流したいときに「ナシ」にします。
		2	アリ	
075	オプションハンドセット	1	ナシ*	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
		2	アリ	
082	クイックメモリー送信	1	ナシ	クイックメモリー送信の設定(●44 ページから 48 ページ)
		2	アリ*	
091	宛先確定操作	1	ナシ*	誤送信防止のため、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの宛先を連続して指定できないようにする機能です。"アリ" に設定すると、宛先を指定するたびにセットの押下が必要です。
		2	アリ	
096	NTT ファクシミリ通信網	1	ナシ*	ファクシミリ通信網加入時、第 2 発信音を検知する場合は 2 : SDT、しない場合は 3 : Timer に設定します。
		2	SDT	
		3	Timer	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
099	メモリーサイズ	-	-	(設定はありません。)
117	複数宛先指定	1	ナシ*	複数宛先の指定を設定します。
		2	アリ	「アリ」にすると複数の宛先に送信できます。 「ナシ」にすると送信時に複数の宛先を指定できません。
123	リルート機能	1	ナシ*	IP 電話を使っでの送信機能を使うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
124	プレフィクス機能	1	ナシ*	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは「アリ」にします。付与する番号を指定したあと、設定を行います。
		2	アリ	
125	宛先確認	1	ナシ	複数宛先指定時に確認画面を表示します。
		2	アリ*	
133	SADF デフォルト	1	オフ*	原稿の読取終了後5秒以内に原稿が ADF に追加された場合に、原稿の読取に継続する設定を行います。(1回の読取の最大読取枚数は255ページです。原稿や文字サイズの設定により、最大読取枚数は減ることがあります。) 送信原稿枚数がADFの最大読取枚数を超える時や、一枚ずつ原稿を読取らせる時に使用します。 「オン」に設定した場合、「082 クイックメモリー送信」は動作しません。
		2	オン	
134	宛先名敬称付加	1	ナシ	受信側で印刷される文書の発信元情報の宛先に、敬称(〇〇さま)の印字を設定します。
		2	アリ*	
135	迷惑ファクス防止			ダイレクトメールなどの迷惑ファクスを防止する機能です。(●ファクス編 58 ページ)
		01 数字 ID 拒否		「04 ID 番号登録」で登録した数字 ID の相手からの受信拒否を設定します。
		1	ナシ*	
		2	アリ	
		02 ID なし時受信		数字 ID を送出しない相手から着信した場合に、受信します。 ・この機能は、「01 数字 ID 拒否」を「アリ」に設定した場合に有効になります。
		1	ナシ	
		2	アリ*	
		03 ID 受信時刻プリント		相手機の数字 ID を受信時刻とともに受信文書に記載します。 ・この機能は、「01 数字 ID 拒否」を「アリ」に設定した場合に有効になります。
		1	ナシ	
		2	アリ*	
04 ID 番号登録		「01 数字 ID 拒否」で拒否したい数字 ID を登録します。 30 件まで登録できます。		

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
136	直接ダイヤル制限	1	ナシ*	宛先入力時の直接ダイヤル機能の有効/無効を設定します。「アリ」に設定すると、直接ダイヤルによる宛先の指定、キーボード画面でのメールアドレスの入力はできません(手動送信を含む)。「アリ」に設定した場合、[再ダイヤル]は使用できません。
		2	アリ	
137	直ダ再入力	1	ナシ	直接ダイヤルによる宛先指定時、キーボード画面でのEメールアドレス入力時、再ダイヤル時、および宛先確認で、宛先を入力する時に、宛先の再入力画面を表示するかどうかを設定します。 「アリ」に設定すると、宛先の再入力画面が表示され、1回目と2回目の宛先が一致した場合にだけ通信が開始されます。 「アリ」に設定した場合も、手動送信のときは、再入力画面が表示されません。 「136 直接ダイヤル制限」が「アリ」に設定されている場合、本機能で「アリ」を設定しても、宛先の再入力画面は表示されません。
		2	アリ*	
140	LAN 中継送信指示	1	ナシ*	「アリ」にすると、LAN 経由の中継送信の指示を行います。
		2	アリ	
141	LAN 縮小送信	1	ナシ*	「アリ」にすると、LAN 経由にて送信するときに A4 サイズに縮小されて送信します。
		2	アリ	
142	LAN 中継機能	1	ナシ	「ナシ」にすると、LAN 中継動作を行いません。
		2	アリ*	
143	中継結果返送	1	オフ	LAN 中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
		2	全て*	
		3	未通信	
145	From 選択機能	1	ナシ*	発信元やメールのFrom 欄の内容を選べるようにするときに、「アリ」にします。24 個のユーザー名称(最大 25 文字)とメールアドレス(最大 60 桁)を登録できます。
		2	アリ	
146	POP 取得間隔	0	0 分	POP サーバーへメールの到着の確認をする間隔を設定します。 初期設定は 3 分に設定されています。
		~	~	
		60	60 分	
147	POP 自動受信	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 取得時、自動受信しません。
		2	アリ*	
148	POP 受信後メール削除	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 受信後メール削除しません。
		2	アリ*	
149	POP エラー時メール削除	1	ナシ*	「アリ」にすると、POP サーバーに受信できないメールが来たときにこのメールを削除します。
		2	アリ	
150	送達確認返送	1	ナシ*	LAN 受信時の結果を送信元に返送するとき「アリ」に設定します。
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
151	メールヘッダ表示	1	全て	メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
		2	編集 *	
		3	オフ	
152	SUB ルーティング	1	ナシ *	サブアドレスによるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
153	数字 ID ルーティング	1	ナシ *	数字 ID によるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
154	ルーティング時 From 欄	1	指示局 *	ルーティングにより、LAN メールを送る際の From 欄の内容を選びます。
		2	中継局	
155	ルーティング時 プリント	1	未通信 *	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
		2	全て	
156	メモリー転送時 プリント	1	未通信 *	メモリー受信したファクス、またはメールを転送する際、常に印刷するか、または転送が未通信の場合のみ、印刷するかを選択します。
		2	全て	
157	管理レポート送信	1	ナシ *	「アリ」にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。
		2	アリ	
158	メールリモート 登録	1	ナシ *	PC からメールにより登録取出しを行うとき「アリ」にします。
		2	アリ	
159	サブジェクト登録	1	ナシ *	送信の度に件名 (Subject) を記入できるようにするかどうかを選択します。
		2	アリ	
160	デフォルト ドメイン名	1	ナシ	直接ダイヤルで送るとき、ドメイン名を入れて送信するとき「アリ」にします。
		2	アリ *	
161	DNS サーバー	1	ナシ	インターネット通信で DNS サーバーを使うときは「アリ」にします。
		2	アリ *	
163	ルーティング ヘッダー	1	ナシ *	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに「アリ」にします。
		2	アリ	
164	LAN 送信ヘッダー	1	付加 *	デフォルト・ドメインに登録されている同ドメイン内に原稿を送信する場合、ヘッダーを印刷するかどうかを選択します。(スキャナーとして使う場合に便利です。) ただし、デフォルト・ドメイン以外のドメインへ送信する場合は、設定が「ナシ」になっていてもヘッダーは付加されます。
		2	ナシ	
169	DHCP クライアント	1	ナシ *	起動時に自動的に DHCP サーバーが IP アドレスなどを割り当てる設定をするかどうかを選択します。この設定の変更を行なうと、自動的に再起動されます。
		2	アリ	
170	SMTP 認証 (●40 ページの お知らせ 1)	1	ナシ *	SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、ユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
171	SMTP 時 POP に よる確認	1	ナシ *	POP での SMTP 認証が必要かどうかを選択します。(ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
172	ダイレクト SMTP 送信	1	ナシ*	ワンタッチ／短縮ダイヤルへの登録時、インターネット通信時にダイレクトSMTP 送信を行なうかどうかを選択できます。
		2	アリ	
173	送達確認要求	1	オフ	インターネットファクスで送信するときに、送達確認要求 (MDN) をするかどうかのデフォルト設定を選択できます。送達確認要求の設定はセレクトモード (F8-2) で送信毎に設定が可能です。送達確認が宛先側から返信されると、通信管理レポートに通信結果を記録します。
		2	オン*	
174	APOP 認証	1	ナシ*	APOP による認証を行なうかどうかを選択します。(この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
175	発番号ルーティング	1	ナシ*	発信者番号によるルーティングを行うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
176	モデムダイヤルインルーティング	1	ナシ*	モデムダイヤルイン・ルーティングを行うときは「アリ」に設定し、モデムダイヤルイン番号の登録を行ないます。(最大 20 桁、50 件まで登録可能) 登録したモデムダイヤルイン番号は、システム登録リストのプリント (F6-4) でプリントできます。(☛ファクス編 152 ページ)
		2	アリ	
177	送信ファイルタイプ	1	TIFF*	送信ファイルタイプのデフォルト値を設定します。送信ファイルタイプの設定はセレクトモード (F8-6) で送信毎に設定の変更が可能です。
		2	PDF	
178	デュアルサーバー	1	ナシ*	デュアルサーバーの設定を行なうときは「アリ」にします。
		2	アリ	
179	SMTP 認証 (2)	1	ナシ*	サーバー 2 に対して SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、ユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
180	SMTP 時 POP 確認 2	1	ナシ*	サーバー 2 に対して POP での SMTP 認証が必要かどうかを選択します。(ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
181	APOP 認証 (2)	1	ナシ*	サーバー 2 に対して APOP による認証を行なうかどうかを選択します。(この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	

お知らせ

- SMTP サーバーまたは POP サーバーが機能をサポートする場合、「アリ」を選択できます。

誤送信防止 (E メール)

概要

誤った宛先への送信を防止するため本機には、複数宛先指定の禁止、宛先確認、直接 E メールアドレス制限、直接 E メールアドレス再入力 of 4 つの機能があります。

複数宛先指定の禁止

複数宛先の指定、およびグループダイヤルを禁止するように設定できます。
この機能が設定されている場合、2カ所目の宛先を指定しようとする、次のメッセージが表示されます。

フクシアテサキ/ センタクハ
デキマセン

- 複数宛先指定を禁止する場合は、システム登録の「117 複数宛先指定」を「ナシ」に設定しておきます。
お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。(☛37 ページ)

「ナシ」に設定した場合も、プログラムダイヤルを利用した複数宛先への送信はできます。

宛先確認

常に宛先確認をしてから、送信を開始するように設定できます。

宛先確認が設定されている場合、宛先を確認しないで **スタート** を押すと、宛先確認の操作を促すメッセージが表示されます。

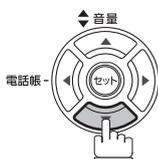
- 宛先確認をする場合は、システム登録の「125 宛先確認」を「アリ」に設定しておきます。
お買い上げ時は、「アリ」に設定されています。(☛37 ページ)

送信指示を行ったあと (☛44 ページ～ 50 ページ) 宛先確認を促すメッセージが表示された場合は、次の手順にしたがって操作してください。

1



または



を押して宛先を確認する

√ ^ テ アテサキカ カクニシテ
スタートヲ オンテクダサイ

2



誤送信防止 (E メール)

直接 E メールアドレス制限

直接入力による E メールアドレスの指定を、すべて禁止するように設定できます。

- 直接 E メールアドレス入力を禁止する場合は、システム登録の「136 直接ダイヤル制限」を「アリ」に設定しておきます。お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。(☛38 ページ)
- この機能を設定すると、**再ダイヤル**は使用できません。ただし、再ダイヤル待ちが表示されている場合は **再ダイヤル** を押すと、再ダイヤルが開始されます。

テンキー、**再ダイヤル** を押すと、次のメッセージが表示されます。

フォクセツダイヤル セイゲン
チュウニ コノソウサハ デキマセン

直接 E メールアドレス再入力

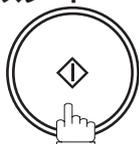
直接入力で E メールアドレスを入力するときに、E メールアドレスの再入力画面が表示され、1 回目と 2 回目的一致した場合にだけ送信が開始されるように設定できます。

- 直接 E メールアドレス再入力を有効にする場合は、システム登録の「137 直ダ再入力」を「アリ」に設定しておきます。お買い上げ時は、「アリ」に設定されています。(☛38 ページ)
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が「アリ」に設定されている場合は、「137 直ダ再入力」で「アリ」を設定しても、再入力画面は表示されません。
- 1 回目と 2 回目の宛先が一致しない場合は、「アテサキガ イッチシテイマセン」と表示されます。

直接入力で 1 回目の E メールアドレスを入力し、**セット** または **スタート** を押す (☛44 ページ) と、自動的に再入力画面が表示されます。次の手順に従って操作してください。

1 E メールアドレスをもう一度入力します。

メール アドレスヲ サイニユウリョク

2 **スタート**


3 1 回目と 2 回目的一致すると、送信が開始されます。

1 回目と 2 回目的一致しない場合は、「アテサキガ イッチシテイマセン」と表示されます。この場合は、1 回目の E メールアドレスの入力から、操作し直します。

LAN を使って送信する

概要

LAN 経由で 1 宛先または複数宛先のメールアドレスに原稿を送信することができます、次のメールアドレスが指定できます。

- 直接メールアドレス指定
- ワンタッチボタン指定
- 短縮ダイヤル指定
- 電話帳機能指定
- 複数宛先指定

メールアドレスをワンタッチボタン、プログラムボタンまたは短縮ダイヤルに登録すると自動的にメモリー送信モードを選択します。

原稿はメモリーに保存され、メールメッセージを送信します。

LAN 経由での原稿送信には、ダイレクト送信、手動送信、および再ダイヤル機能は使えません。

インターネットに接続するためには

インターネット機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。インターネットに接続するための事前準備を行ってください。(●8 ページ)

LAN を使って送信する

直接メールアドレスを入力して送る

1



送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレタタ^ササイ
スタート ヲ オシタタ^ササイ 00%

2

Eメール



Eメールモードを選択する

メール アド^レス ヲ イレタタ^ササイ

3a

ワンタッチボタンとテンキーボタンを使ってメールアドレスを入力する（60文字まで）

例：abc@panasonic.com

宛先を間違えたときは、**クリア**を押して再指定してください。

または

abc@panasonic.com

3b

メールアドレスのユーザー部分を入力し、**セット**を押すユーザー（インターネット）パラメーターに登録してあるデフォルトドメインが付加され送信されます。（●お知らせ2）（例：メールアドレスに "panasonic.com" を追加します）

または

abc

1 アテサキ セット サレタイムス
アテサキ ツイカ マタハ スタート

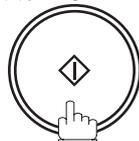
3c

デフォルトドメインと異なるドメインに送信する場合、メールアドレスの最初の部分を入力し、を押して、 または  ボタンを使い、ドメインを選択し、**スタート**を押します。（●54ページ）

abc@mgcs.com

4

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

チクセキ シタイムス NO.001
マイスウ=001 01%

チクセキ カリヨウ
ゲンコウ マイスウ=005 25%

メモリー ソウジン シタイムス
ID:abc@panasonic.com

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. システム登録の「160 デフォルトドメイン名」が「アリ」でかつ、自局情報（インターネット）パラメーターにデフォルトドメインが登録されているときにご利用できます。（●30、39ページ）
3. ダイヤルの前にセレクトモード（F8-6）で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。（●40ページ）

便利な機能

ワンタッチボタンで送る

あらかじめワンタッチボタンにメールアドレスを登録しておいてください。(☛ ファクス編 126 ページ)

1

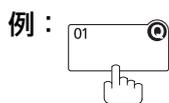


送る面を裏向きにセットする

アサキ ヲ イレクダサイ
スタート オシテダサイ 00%

2

ワンタッチボタン (01-32) を押す



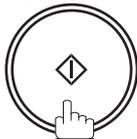
電話番号がワンタッチボタンに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

<01> (宛先名)
abc@panasonic.com

<01> (宛先名)
5551234

3

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

* チクセキ シテイマズ* NO.001
マイズ=001 01%

* チクセキ カリヨウ*
ケンコウ マイズ=005 25%

* メモリー ソウジン シテイマズ*
ID: (宛先名)

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛ 57 ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード (F8-6) で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛ 40 ページ)

便利な機能

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルにメールアドレスを登録しておいてください。(☛ ファクス編 128 ページ)

短縮ダイヤルは 001 ~ 300 までの任意の 300 カ所をお使いになれます。

1

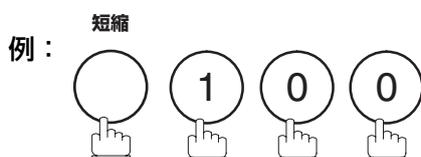


送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オンテクダサイ 00%

2

短縮 を押して、3桁の短縮番号 (001-300) を押す



電話番号が短縮ダイヤルに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

[100] (宛先名)
xyz@panasonic.com

[100] (宛先名)
5553456

3

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

* チクセキ シテイマス * NO.001
マイズ = 001 01%

* チクセキ カリヨウ *
ゲンコウ マイズ = 005 25%

* メモリー ソウシン シテイマス *
ID: (宛先名)

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛ 57 ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード (F8-6) で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛ 40 ページ)

電話帳機能で送る

ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録 (☛ ファクス編 126、128 ページ) してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。

1



送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2a



宛先名を検索する場合

または

アテサキメイヲ イレクダサイ <カ
■

2b



メールアドレスを検索する場合

または

■
メール アドレスヲ イレテ クダサイ

3a

文字ボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する
(☛ ファクス編 133 ページ)

例：PANASONIC を検索するには **P** **A** **N** **A**

間違った場合、**クリアー**を押して文字を消し、正しい文字を再入力してください。

または

アテサキメイヲ イレクダサイ <A>
PANA■

3b

文字ボタンを使ってメールアドレスの全部または一部を入力する

例：xyz@panasonic.com を検索するには **x** を入力します。

x■
xyz@panasonic.com

4



または



送信する宛先名、電話番号 / メールアドレスが表示されるまで繰り返してください。

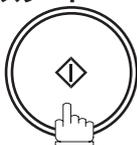
<01>PANASONIC
NEW_YORK@panasonic.c

または

x■
xyz@panasonic.com

5

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

* チクセキ シテイマス * NO.001
マウス=001 01%

* チクセキ カリヨウ *
ケンコウ マウス=005 25%

* メモリー ソウシン シテイマス *
ID: PANASONIC

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。
(☛57 ページ)
3. ダイヤルの前にセレクトモード (F8-6) で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(☛40 ページ)

一度にたくさんの相手に送る（同報送信）

原稿をメモリーに蓄積し、複数の宛先に送信できます。

1



送る面を裏向きにセットする

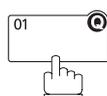
アテサキ ヲ イレテタ^ダサイ
スタートヲ オジテタ^ダサイ 00%

2

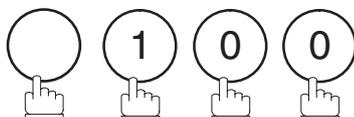
次の方法でメールアドレスを組み合わせて入力する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
各宛先選択後「セット」を押します。
- 直接メールアドレス入力
各宛先入力後「セット」を押します。（最大 70 件）
（▶44～48 ページ）

例：



短縮



入力した宛先数を確認する場合、「セット」を押します。

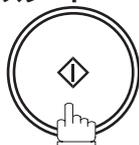
<01>（宛先名）
abc@panasonic.com

[100]（宛先名）
xyz@panasonic.com

1 アテサキ セット サレタイマス
アテサキ ツイカ マタハ スタート

3

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

* チクセキ シテイマス * NO.001
マイスウ =001 01%

* チクセキ カンリョウ *
ケンコウ マイスウ =005 25%

* メモリー ソウシン シテイマス *
ID: (宛先名)

お知らせ

1. お買い上げ時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。
(●57 ページ)
3. メールアドレスと電話番号を組み合わせることができます。
4. 一般的に LAN による複数宛先への送信は、SMTP サーバーに 1 回の送信で完了します。しかし、システム登録の「173 送達確認要求：オン」になっているか、「172 ダイレクト SMTP 送信：アリ」モードのときは、各宛先への個別送信となります。
5. ダイヤルの前にセレクトモード (F8-6) で送信ファイルタイプを送信毎に変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で指定できます。(●40 ページ)

メモリー送信予約（マルチタスク）

お使いのファクスがメモリーからの送信、受信もしくはプリントを行なっている場合、次の手順で送信の予約ができます。

- 1** 送信または受信中で、通信中ランプが点滅するかまたはプリント中のときは、次のように表示する

* メモリー ソウジ シテイマス *
ID: (宛先名)

* ジュシシ シテイマス *
ID: (相手先 ID)

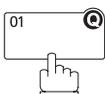
* プリント シテイマス *
メモリーファイル プリント

- 2**  送る面を裏向きにセットする

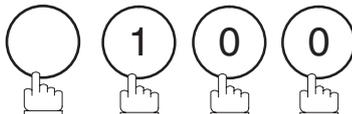
アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オンテクダサイ 00%

- 3** 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます。）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
各宛先選択後**セット**を押します。
- 直接メールアドレス入力
各宛先入力後**セット**を押します。（最大 70 件）
(☛44 ~ 48 ページ)

例：


短縮



<01> (宛先名)
abc@panasonic.com

[100] (宛先名)
xyz@panasonic.com

- 入力した宛先数を確認する場合、**セット**を押します。

2 アテサキ セット サレテイマス
アテサキ ツイカ マタハ スタート

便利な機能

4



5

スタート



* チクセキ シティマス* NO.001
マイスウ=001 01%

* チクセキ カリヨウ*
ケンコウ マイスウ=005 25%

原稿をメモリーに蓄積します。

読取り終了後、メモリーに予約された通信が開始されます。

お知らせ

1. メモリ送信予約のキャンセルについては、ファクス編91 ページを参照ください。

自動再ダイヤル

LAN 接続が正常に行なわれなかったり、相手サーバーが通信不可能などで通信ができなかったときは、3 分ごとに最大 2 回まで再ダイヤルします。

その間、右のようなメッセージが表示されます。ファイル番号は、メモリー送信ファイルの場合ディスプレイの右端上部に表示されます。

ダイヤルマチ (メールアドレス)	NO. 001
---------------------	---------

お知らせ

1. "ダイヤルマチ" が表示されているとき、**再ダイヤル** を押すことで再送信できます。

セレクトドメイン

セレクトドメイン機能を使うことで、メールアドレスの入力が簡単になります。

- ふだん使うドメイン名を最大 10 件まで、インターネットパラメーターのセレクトドメインリストに登録することができます。(▶31 ページ)

例：セレクトドメインリストで事前登録した "panasonic.com" ドメインを使って、パナソニック販売部宛 "sales@panasonic.com" に E メールを送信する場合、以下の手順で行ないます。

1



送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2

Eメール



Eメールモードを選択する

メール アドレス ヲ イレテ クダサイ

3

文字ボタンを使ってメールアドレスの一部を入力する

例：「sales@」を入力します。

(「@」以降にドメイン名が入力されます。)

sales@

4

送信するドメイン名が LCD に表示されるまで



または



を押す

panasonic.com

例：panasonic.com

5

セット を押して、表示されたドメイン名をメールアドレスのユーザー部分に追加する

ドメイン名の選択を間違った場合、**セット** に続いて **▼** または **▲** ボタンを押し、正しいドメイン名に入れ替えます。

sales@panasonic.com

6

セット を押す

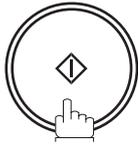
- 続けて、次の宛先を入力できます。

または

1 アサキ セット サレタイムス
アサキ ツイカ マタハ スタート

7

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

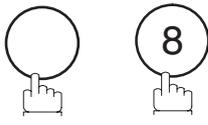
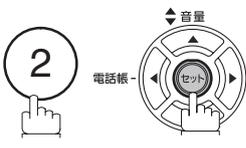
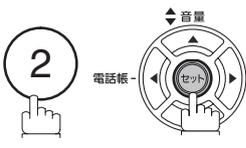
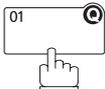
お知らせ

1. 必要なドメイン名が見つからない場合、**クリアー** を押して、セレクトドメインを終了してください。

送達確認要求 (MDN)

送達確認要求 (MDN) を受信側に受信確認のメールを要求することができます。受信側が送達確認機能を備えている場合、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。

受信確認メールが戻ってきた場合、お使いのファクスの通信管理レポートには「OK」が表示されます。

1	 <p>送る面を裏向きにセットする</p>	アテサキ ヲ イレクダ`サイ スタートヲ オシテクダ`サイ 00%
2	<p>ファンクション</p> 	セレクト モード (1-9) ハンゴウヲ イレル マタハ ヴ Λ
3		ソウツツ カニン=オン 1: オフ 2: オン
4		アテサキ ヲ イレクダ`サイ スタートヲ オシテクダ`サイ 00%
5	<p>宛先を指定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンタッチボタン 短縮ダイヤル 電話帳機能 <p>各宛先選択後 セット を押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接メールアドレス入力 <p>各宛先入力後 セット を押します。(最大 70 件) (☛44 ~ 48 ページ)</p> <p>例：</p> 	<01> (宛先名) panasonic.usa@panas
6	<p>スタート</p>  <ul style="list-style-type: none"> 原稿をメモリーに蓄積します。 宛先へ送信を開始します。 	

お知らせ

1. 別々の宛先に送達確認を行う場合、宛先に対応する LAN にその度に接続し、送達確認を要求します。
2. 送達確認要求のデフォルト設定を変更するには、システム登録の「173 送達確認要求」を変更します。(☛40 ページ)

エラーメール

インターネット通信モードでは、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返送されてきます。メールサーバーからの情報と 1 枚目の画情報の一部がプリントされます。

エラーメールのプリント例

```

Received: from localhost (localhost) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; Sun, dd Mmm yyyy 14:52:57 +0900
Date: Sun, dd Mmm yyyy 14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA24381@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at Sun, dd Mmm yyyy 14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp> (unrecoverable error)

----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp :
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21
.22.51]) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39
.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; Sun, dd Mmm yyyy 14:52:54 +0900
Message-Id: <200011120552.OAA24380@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: Sun, dd Mmm yyyy 14:49:00 +0900
From: "DP-2000" <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp

                    5
dd Mmm yyyy 14:49          FROM UF-6030          P.01/01

```


THE SLEREXE COMPANY LIMITED
 SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8 ER
 TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC dd Mmm yyyy

Dr. P.N. Cundall,
 Mining Surveys Ltd.,
 Holroyd Road
 Reading,
 Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause

便利な機能

メーリングリストを使う

複数の相手のメールアドレスを指定するかわりに、あらかじめメールサーバーに登録されたメーリングリストを利用すると、1回の操作で、簡単に複数宛先送信ができます。

メーリングリストのご利用については、システム管理者とよくご相談のうえご使用ください。

LAN を使って受信する

概要

LAN 内の PC およびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POP サーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、POP 関連の設定が必要になります。(●61 ページ)

インターネットファクスは原稿以外に E メールも受信できます。

E メールを PC で見る場合の操作については、お使いのメールソフトやビューアソフトの取扱説明書をご覧ください。

次に E メールを PC で見る場合の一例を示します。

インターネットファクス送信を PC で受信した場合の画面



図 1: Outlook Express メールボックス見本

- 上記例は Microsoft® Windows® で作動する Outlook® Express メールボックスからのものです。お使いの E メールアプリケーションソフトが違う場合は、お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照ください。

LAN を使って受信する

インターネットファクスから受信したメールを表示させた場合の画面

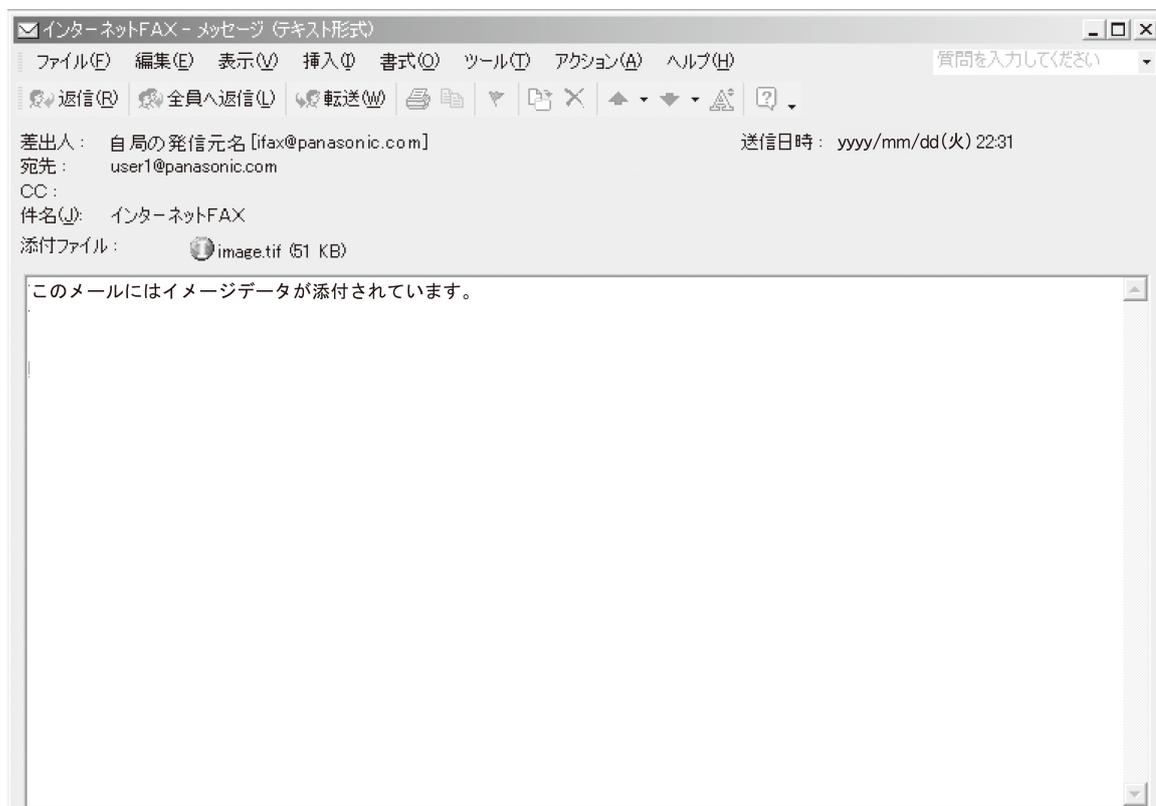


図 2: PC で受信したインターネットファクス

上記の例は、Microsoft® Windows® で作動する Windows メッセージからの引用です。

フリーソフトの TIFF ビューアー、TIFF コンバーター、プリンタードライバー、Adobe® Acrobat® Reader® が以下のホームページからダウンロードできます。

- ・ ソフトウェアがダウンロードできるホームページ：
<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>
- ・ アドビ システムズ社のホームページ <http://www.adobe.co.jp/>

ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関してはその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

1. UF-6030 は TIFF 形式および PDF 形式のファイルで送信できます。システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で切替えができます。(▶ 40 ページ)

POP サーバーからメール受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。
 (お使いの機器が POP サーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方におたずねください)。

POP パラメーターの設定

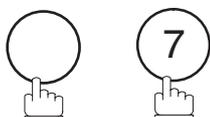
POP サーバーに関連するシステム登録の設定をします。(No.146 ~ 149) (☛38 ページ)

- No.146 (POP 取得間隔) : POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔(0 ~ 60 分)を設定します。(0 分の時は自動で問い合わせは行いません。)
- No.147 (POP 自動受信) : POP サーバー自動問い合わせで受信メールが有る場合、メールを受信し、プリントします。
 “ナシ”の場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。
- No.148 (POP 受信後メール削除) : メール受信後、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。
- No.149 (POP エラー時メール削除) : プリントできない添付ファイルを受信した場合、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。

上記 POP パラメーターを設定するには、下記の手順に従ってください。

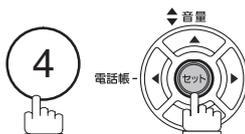
1

ファンクション



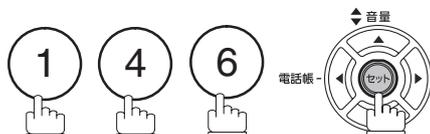
トウロク モード	(1-4)
ハンゴウ ヲ イレル マタハ ヴ Λ	

2



システム トウロク	(1-181)
NO. =■	

3



146 POP シュツク カンカ
3 7ン (0-60)

4

取得間隔(0 ~ 60分)を入力する

例：①⑤

146 POP シュツク カンカ
5 7ン (0-60)

間違った場合、**クリアー**を押して数字を消去し、次に正しい値を再入力します。

LAN を使って受信する

5



147 POP シトウ ジュシ
2: アリ

6

POP 自動受信の設定を入力する

"ナシ" の場合①

または

"アリ" の場合②

147 POP シトウ ジュシ
2: アリ

7



148 POP コ メールサクジヨ
2: アリ

8

POP 後サーバーからメールの削除をするかしないかの設定を入力する

"ナシ" にするには①

または

"アリ" にするには②

148 POP コ メールサクジヨ
2: アリ

9



149 POP エラーシ メールサクジヨ
1: ナシ

10

POP エラー時のメール削除をするかしないかの設定を入力する

"ナシ" にするには①

または

"アリ" にするには②

149 POP エラーシ メールサクジヨ
1: ナシ

11



150 ソフトウェア カンニング ハンズ
1: ナシ

12



お知らせ

1. プリントできない添付ファイルを受信した場合、プリントできないことを通知します。
2. システム登録の「148 POP 受信後メール削除」および「149 POP エラー時メール削除」のいずれかの設定が「ナシ」になっている場合、メールは削除されません。この場合、後でお手持ちの PC にこの E メールを取り込むことができます。

さらに、これらのシステム登録の設定が「ナシ」に設定されている場合、POP サーバーからの E メールを定期的に削除しなければなりません。POP サーバーは、アカウントごとに一定の容量を確保しますが、メールを定期的に削除しない場合、メールボックスが容量オーバーとなり、新規メールが拒否されることとなります。

これらのメールはお手持ちの PC から取り込むかシステム登録の設定を「アリ」に設定し、お手持ちのファクスが POP サーバーからすべてのメールを受信、プリントおよび削除できるようにします。しかし、この場合、前にプリントしたメールを再びプリントしてしまうこともあります。

LAN を使って受信する

POP サーバーからの自動受信

システム登録の「146 POP 取得間隔」の数値を 1 ~ 60 分の間を設定し、システム登録の「147 POP 自動受信」を「アリ」に設定している場合、ファクスは新規メールを指定された時間ごとに自動的に POP 受信します。

POP サーバー上のメールはすべて取り込み、自動的にプリントします。

1 ケン メールが トビイマス

システム登録の「147 POP 自動受信」を「ナシ」に設定している場合、ファクスはシステム登録の No.146 で指定した間隔で POP サーバーへメール着信の確認をします。新着のメールがある場合でもメール取得は行いませんが、着信数の表示は行います。

yyyy-mm-dd 15:00
<メールが トビイマス>

POP サーバーから手動受信

POP サーバーから手動で受信するには、以下の手順に従ってください。



yyyy-mm-dd 15:00
00%

または

yyyy-mm-dd 15:00
<メールが トビイマス>

2 POP サーバー新着のメールがない場合は、次のメッセージが表示されます。

ジユシメールハ アリマセン

3 新着のメールが POP サーバー上にある場合、着信メール数を表示し、メールを受信後、プリントします。

ジユシ シテイマス
ID:abc@panasonic.com

お知らせ

1. POP ユーザー名と POP パスワードをプログラムボタンに登録してある場合、自局情報（インターネットパラメーター）で登録した名前以外の POP ユーザー名を使って POP サーバーからメール受信できます。

FROM 選択機能

概要

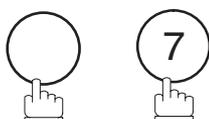
システム登録「145 From 選択機能」を「アリ」にすると、メール送信時に、発信元やメールの From 欄の内容を選ぶことができます。お買い上げ時の設定は「ナシ」になっています。

24 個 (No.01 ~ No.24) のユーザー名とアドレスを登録できます。

FROM 選択機能の設定

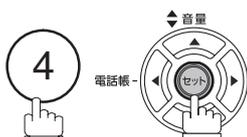
1

ファンクション



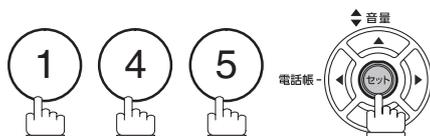
トウロク モード (1-4)
ハンゴウ ヲ イレル マタハ ヴ ハ

2



システム トウロク (1-181)
NO. =■

3



145 From ラン センタク
1: ナシ

4



145 From ラン センタク
2: アリ

5



From ラン センタク
ハンゴウ ヲ イレル マタハ ヴ ハ

6

送信元の選択番号を入力する

例：「12」を入力する (01 から 24 まで入力可能)。

ユーザーメイ ニュウリョク <カ
12 ■

7

文字ボタンを使ってユーザー名を入力し[設定]を押す
(最大 25 文字 / 桁) (☛ ファクス編 133 ページ)

ユーザーメイ ニュウリョク <カ
12 ■

<次ページへつづく>

FROM 選択機能

- 8** メールのヘッダー部の“From”に印刷されるメールアドレスを入力する（最大60文字）。

例：abc@panasonic.com

メール アドレス フォイレクタサイ
12 abc@panasonic.com

9



続いてユーザー名を登録する場合は、手順6から9までの操作を繰り返し行ってください。

待機状態に戻るには「ストップ」を押してください。

ユーザー名 ニュウリョク <カ
13

送信元を選択して原稿を送信する

1



送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレタクダサイ
スタートヲ オシテタダサイ 00%

2

メールアドレスを入力する

3



From ラン センタク (00-24)
ハンコウ ヲ イレル マタハ ヴ ハ

4

使用したい番号を入力または▼ ▲ボタンを使って選択する（● お知らせ 1）

例：「12」を入力します。

12 ハナソニック
abc@panasonic.com

5



原稿は、選択した番号に登録されているユーザー名をメールのヘッダー部の“From”に記載の上、送信されます。

お知らせ

- 手順 4 で、ユーザー名を登録した番号を選択しない場合は、自局登録のインターネットパラメーターに登録しているユーザー名（00）が選択されます。

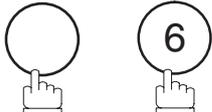
FROM 選択機能

FROM 選択リストを印刷する

システム登録リストに続いて FROM 欄選択リストを印刷することができます。

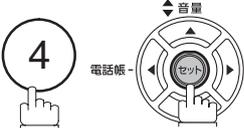
FROM 欄選択リストを印刷する際は、システム登録の「145 From 選択機能」を「アリ」にしてください (●38 ページ)。

1 ファンクション



リスト プリント (1-7)
ハンコウヲ イレル マタハ V ^

2



* プリント システム *
システム トウロク リスト

FROM 欄選択リストのサンプル (ファクス・パラメーターの後に印刷されます)

```
***** - システム トウロク リスト - ***** yyyy-mm-dd ***** 15:00 ***P.03

*** From ラン センタク リスト ***

(1)      (2)      (3)
NO.      ユーザー 名      メール アドレス

01      Panafax Sales      sales@panasonic.com
02      Panafax Servic     service@panasonic.com
03      Panafax Accountin  account@panasonic.com

{          {          {

24      Panafax Engineering  engineering@panasonic.com

- PANASONIC -

***** - パナソニック - ***** - 201 555 1212- *****
```

コンテンツに関する説明

- (1) 送信元選択ナンバー : 01-24
- (2) ユーザー名 : 最大 25 文字
- (3) メールアドレス : 最大 60 文字

件名の入力

概要

自局登録のインターネットパラメーター設定の「デフォルトサブジェクト」に登録されている件名を、送信する全てのメールの件名に付与して送信することができます。

メールを送信するときに各メールの件名を設定したい場合は、システム登録の「159 サブジェクト登録」を「アリ」にしてください。

件名を入力して送信する

1



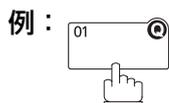
送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテタダサイ
スタートヲ オンテタダサイ 00%

2

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

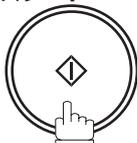
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
(宛先選択後**セット**を押します)
- 直接メールアドレス入力
(宛先入力後**セット**を押します)



<01> (宛先名)
abc@panasonic.com

3

スタート



サブジェクト ニュウリョク
マタハ スタート ヲ オンテタダサイ

4

文字ボタンを使って件名を入力する (最大 40 字/桁)
(☛ ファクス編 133 ページ)

自局登録のインターネットパラメーターに登録されている件名 (サブジェクト) を使用する場合は、**スタート** を押すだけで付与されます。

例：パナソニック

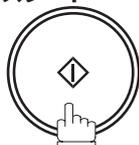
サブジェクト <カ
パナソニック ■

<次ページへつづく>

件名の入力

5

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信が開始されます。

* チクセキ シテイマス * NO.001
マイスウ=001 01%

* チクセキ カリヨウ *
ケンコウ マイスウ=005 25%

* メモリー ソウシン シテイマス *
ID: (宛先名)

お知らせ

1. 自局登録のインターネットパラメーターに件名があらかじめ登録されていない場合は、件名として“IMAGE from Internet FAX”がメッセージ表示されます。

受信ルーティング

ルーティング・パラメーターの設定

G3 ファクスから受信した原稿を、LAN に接続されたパソコンやインターネットにメール送信することができます。また電話回線に接続された別の G3 ファクスに送信することもできます。

この機能を利用する場合、システム登録の No.152 (SUB ルーティング)、No.153 (数字 ID ルーティング)、No. 175 (発番号ルーティング) と (または) No. 176 (モデムダイヤルインルーティング) の設定を「アリ」にする必要があります。(●39～40 ページ)

- No.152 (SUB ルーティング) : F コード通信(サブアドレス通信)を利用できる G3 ファクスから F コードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。
送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。
- No.153 (数字 ID ルーティング) : F コード通信を利用できない G3 ファクスから、ルーティングさせる場合に「アリ」に設定します。
送信側ファクスから送られてくる数字 ID で本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。
- No.154 (ルーティング時 From 欄) : ルーティングされる各ファクスのメールヘッダーの「From」欄に表示する設定を選択します。
指示局 : 発信者の数字IDをルーティングするメールの「From」欄に表示します。
中継局 : ルーティングする中継局のメールアドレスを、ルーティングするメールの「From」欄に表示します。
- No.155 (ルーティング時プリント) : 受信した原稿をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合のみ印刷するかどうかを選択する場合は、このパラメーターで設定してください。
- No.175 (発番号ルーティング) : 発信者番号通知 (ナンバーディスプレイ) を利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている発信者番号の宛先にルーティングすることができます。
- No.176 (モデムダイヤルインルーティング) : モデムダイヤルインを利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

お知らせ

1. 発信者番号通知 (ナンバーディスプレイ) ・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

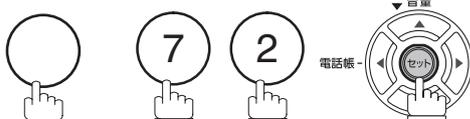
受信ルーティング

ルーティングの登録

ルーティング通信で転送する相手先の宛先、Fコードサブアドレス、数字ID、発信者番号およびダイヤルイン番号を電子電話帳に登録します。ファクス通信時の送信側から送られてきた番号が一致した場合に、一致した電子電話帳の宛先に転送します。あらかじめシステム登録の「152 SUB ルーティング」、「153 数字ID ルーティング」、「175 発番号ルーティング」、「176 モデムダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定しておいてください。(●39～40 ページ)

1

ファンクション



1: ワンタッチ トウロク
2: タンシュク トウロク

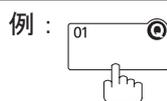
2

電話番号/メールアドレスをワンタッチボタンに登録する場合は、①を、短縮ダイヤルに登録する場合は②を押す

ワンタッチ < >
ワンタッチ ヲ オシテクダサイ

例：①を押します。

3

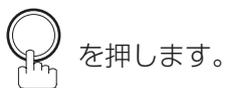


<01>
メール アドレス ヲ イレテクダサイ

メールアドレスと電話番号の入力を切り替える場合は

または

Eメール



<01>
デシマ バンゴウ ニュウリョク

4

メールアドレス（最大 60 字）または電話番号（最大 36 桁）を入力する

<01>
abc@panasonic.com

または

<01>
55512342762

5



<01> ナマエ ニュウリョク < カ
abc@panasonic.com

または

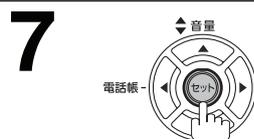
<01> ナマエ ニュウリョク < カ
55512342762

6 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 字）
例：「パナソニック」を入力します。

<01> パナソニック ■ < かん
abc@panasonic.com

または

<01> パナソニック ■ < かん
55512342762



ルーティング : SUB アドレス

8 サブアドレス（最大 20 桁）を入力し、**セット** を押す

ルーティング : スラッシュ ID

9 数字 ID (TSI)（最大 20 桁）を入力し、**セット** を押す

ルーティング : ハッシュコード

10 発番号（最大 20 桁）を入力し、**セット** を押す

ルーティング : モデムダイヤルイン
v ^ 7 オブジェクトサイ

11 ダイヤルイン番号を選択し、**セット** を押す

続いてルーティングの登録ができます。手順 3 からを繰り返してください。

- あらかじめシステム登録の「176 モデムダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定し、ダイヤルイン番号を登録する必要があります。（●40 ページ）
- 待機状態に戻るには**ストップ** を押します。

ワンタッチ < >
ワンタッチ 7 オブジェクトサイ

お知らせ

1. ルーティング数字 ID 欄の“+”と“スペース”の入力は受信機により無視されます。

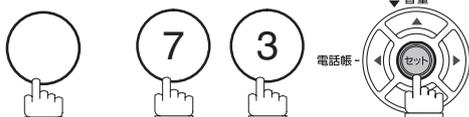
プログラム機能

POP アクセスボタンの登録

[P1] から [P8] のプログラムボタンへ POP ユーザー名、POP パスワードを登録することで、複数のユーザーと本機を共有することができます。それぞれのユーザー名で POP サーバーからメールを受信できます。メールの受信は登録したプログラムボタンを押すだけで取寄せます。(● お知らせ 1)

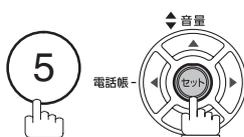
1

ファンクション



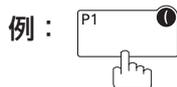
プログラム (1-5)
ハンコウヲ イレル マタハ √ △

2



プログラム [P]
プログラムボタンヲ オス

3



POP ユーザーメイ

4

文字ボタンを使って POP ユーザー名を入力し、
[セット] を押す (最大 40 字まで)

POP ユーザーメイ
kate■

例: 「kate」を入力して [セット] を押します。

POP パスワード

5

文字キーを使って POP パスワードを入力し、[セット] を押す (最大 10 字まで)。

POP パスワード
pana123■

例: 「pana123」を入力して [セット] を押します。

メール サクジヨ NO.=1
1: イイ 2: ハイ

6

メール取出し後、POP サーバーにメールを残す場合は
①を、消去する場合は②を押す

プログラム [P]
プログラムボタンヲ オス

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順3からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには [ストップ] を押します。

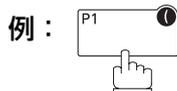
お知らせ

1. 第三者による POP サーバーからのメール取り出しを防止する場合、プログラムボタンに登録をする際にパスワードを入力しないでください。パスワードがブランクになっていると、メールを取り出すためにプログラムボタンを押すたびにパスワードの入力が必要となります。
2. デュアルサーバーの設定をしてある場合は、手順6で POP サーバーの指定ができます。
3. メモリー転送 (● ファクス編 103 ページ) が設定されているときは手動 POP 受信はできません。

POP アクセスボタンによる POP 受信

以下の手順で POP サーバーからメールを取り出します。

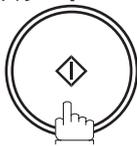
- 1** POP アクセスボタンとしてプログラム済みのプログラムボタンを押す



POP ユーザー名がプログラムボタンに入力されていない場合は、POP ユーザー名（最大 40 字まで）を入れてください。

POP ジュシ ユーザー名
kate

- 2** スタート



- パスワードが登録されている時は手順 3 へ進みます。
- パスワードが登録されていない時は POP パスワードを入力します。

文字ボタンやテンキーボタンから英数字を入力してください。最大 30 文字まで入力できます。

- 3** サーバーに受信メールがない場合は次のメッセージが表示される

ジュシメールハ アリマセン

- 4** サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後メールを受信し、プリントする

1 ケン メールガ トビタイマス

* ジュシ シティマス*
ID: abc@panasonic.com

お知らせ

1. デュアルサーバーを設定されていて、かつ DNS サーバーを設定されていない場合は、サーバー 2 から POP 受信したときでも、MDN（送達通知要求）やリモート登録の返信メールはサーバー 1 経由で行われます。また、同設定の場合は、システム登録の No. 148、149（POP 受信後またはエラー時メール削除）を「ナシ」に設定することをお勧めします。メールを残す設定にしていると、サーバー 2 の POP 受信を何度も繰り返すことになります。

送達確認

概要

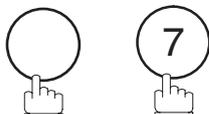
メール受信したときは、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。

送達確認の送信は、送信元の機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

■送達確認返送の設定

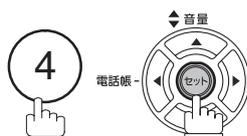
- システム登録の「150 送達確認返送」を設定します。
「ナシ」 受信確認メールを送信しません。
「アリ」 メールを受信しプリント後に受信確認メールを送信します。

1 ファンクション



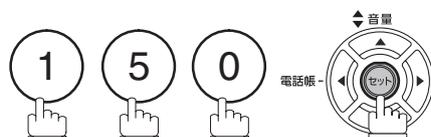
トウロク モード (1-4)
ハンコウヲ イレル マタハ ヴ Λ

2



システム トウロク (1-181)
NO. =■

3



150 ソウタツ カクニン ヘンソウ
1: ナシ

4



150 ソウタツ カクニン ヘンソウ
2: アリ

5



お知らせ

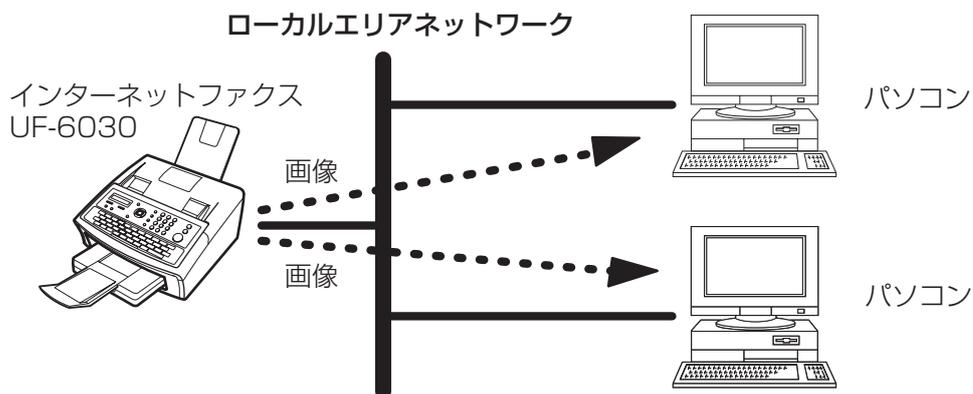
1. パソコンから送信したメールを受信したときは、送信元に受信確認メールを送信することはできません。

ネットワークスキャナー

概要

本機をスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、画像（原稿）を本機からパソコンのメールアドレスへ送信することにより、画像データをパソコン側で読み込むことができます。



1



送る面を裏向きにセットする

アテサキヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2

原稿に合わせて文字サイズを設定する

3

以下のダイヤル方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
(宛先選択後 **セット** を押します)
- 直接メールアドレス入力
(宛先入力後 **セット** を押します)

4

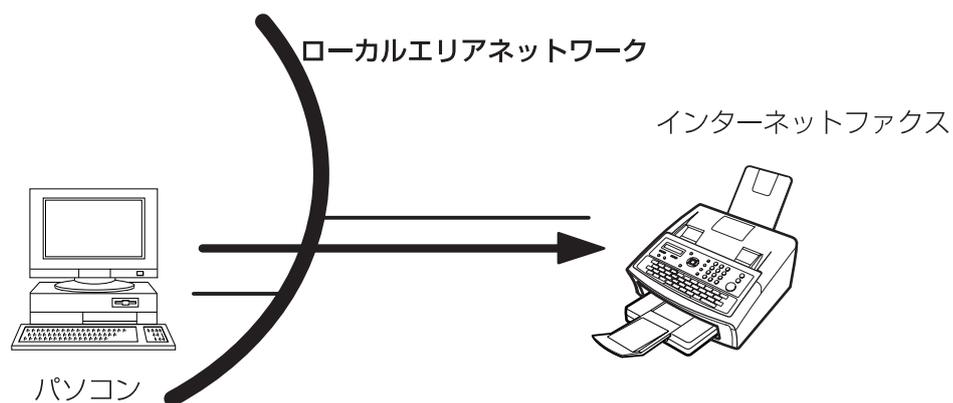


ネットワークプリンター

概要

本機をネットワークプリンターとしてご利用になれます。

パソコンの各種アプリケーションで作成した書類をパソコンからの操作により、LAN に接続した本機へプリントすることができます。ネットワークプリンター機能を利用するためには、ホームページからダウンロードする必要があります。(●22 ページ)



お知らせ

1. プリンタードライバーのインストール方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。

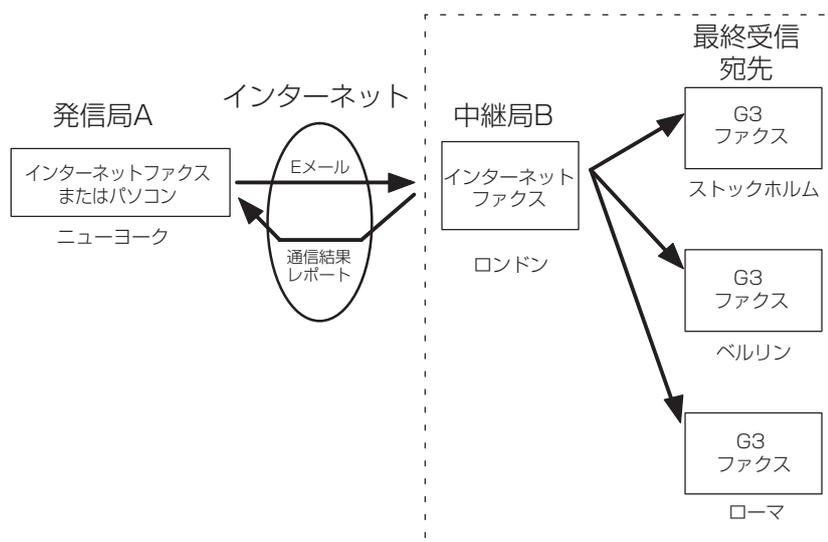
LAN 中継同報

概要

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信した電子メールを、一般回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。

■ LAN 中継同報について

例 1: インターネット中継送信



LAN 中継同報

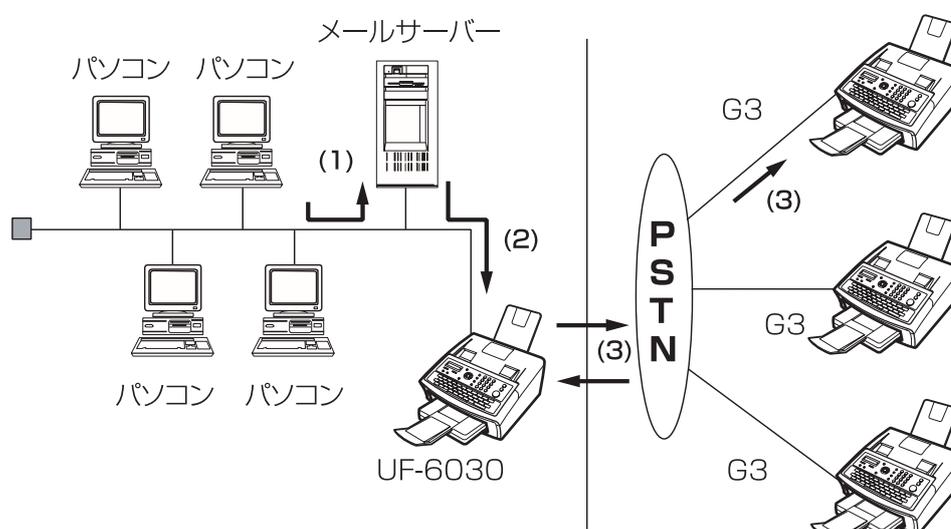
以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

1. LAN 中継機能を持ったインターネットファクス B（中継局）に、メール（TIFF 形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
あらかじめ、LAN 中継指示を登録したワンタッチ／短縮ダイヤル（●87 ページ）を使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。（●89 ページ）
2. 管理者用のパソコンに、LAN 中継同報指示されたことをメールで通知します。（●96 ページ）
デュアルサーバー機能ありの場合も、メールサーバー 1 固定で送信（通知）します。
3. LAN 中継指示されたメールを、一般回線に接続されたファクス（ストックホルム）へ順次同報を開始します。
4. 引き続き、次のファクス（ベルリン・ローマ）に転送します。
5. LAN 中継同報が終了したら、通信結果を LAN 中継同報を指示したインターネットファクス A（発信局）（またはパソコン）へ通信結果レポート（●94 ページ）で返送します。

お知らせ

1. 本機には、LAN 経由の中継同報を指示する機能と、LAN 中継指示を受けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能があります。LAN 中継同報の指示については 89 ページ、90 ページ、LAN 中継同報指示の為の登録については 87 ページを参照してください。また LAN 中継同報指示受付の為の登録については 85 ページを参照してください。
2. 一般回線に接続されたファクスから、本機に LAN 中継同報を指示することはできません。
3. LAN に接続されたインターネットファクスや PC を宛先として、LAN 経由で LAN 中継同報を指示することはできません。
4. 本機が LAN 中継指示を一度に受け付ける宛先数は、最大 70 力所です。70 力所を越える LAN 中継指示が受け付けられた場合は分割されて処理されます。その場合の中継結果レポートは分割された処理ごとに返送されます。
5. POP サーバーに接続してご利用されている場合には、LAN 中継指示を受け付けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能はご利用になることはできません。

例 2: ファクスサーバー (イントラネット中継送信)



(1) メールによりメールサーバーまで LAN 中継同報送信を開始します。

(2) メールサーバーは LAN 中継指示で本機にメールを転送します。

(3) 本機は、G3 ファクスに通信を開始しファイルを送信します。

中継ネットワーク

本機から最終宛先まで直接インターネットファクスで送信する場合、本機能により、時間および長距離市外電話料金が節約できます。

中継ネットワークは原則として、インターネットファクス(発信局 A)またはパソコンである発信局と LAN 中継機能を持つインターネットファクス(中継局 B)、そして G3 ファクスである最終宛先から構成されます。

本機から原稿、またはパソコンからメールをインターネットを使って中継局(本機を含む)へ送信します。中継局からは通常の電話回線を使って G3 ファクスである最終宛先まで送信できます。(パソコンからの送信は TIFF-F 形式のファイルが添付可能です。)

中継局からは最終宛先への送信には電話料金が発生します。

中継局から最終宛先までの送信完了後に、LAN 中継送信が完了したかどうかを通知する通信ジャーナルが、中継局から発信局に返信されます。中継送信情報は、メールで中継局にあらかじめ登録されている自局登録のインターネットパラメーターの管理者メールアドレスに送信されます。(●31 ページ)

LAN 中継送信を利用するには、85 ページから 96 ページまでに記載の設定手順にしたがい、必要情報を入力してください。図 1 に LAN 中継ネットワークのサンプルを記載します。

図 1 のサンプルは、**ニューヨーク(発信局)**を起点とし、**ロンドンおよびシンガポール(中継局)**が、ニューヨークと結ばれ、**(最終宛先)**は**ストックホルム、ローマ、東京、香港**そして**シドニー**などとなっています。

この基本的なネットワークは 2 箇所の中継局を利用し、ロンドンの中継局および/またはシンガポールの中継局を介してネットワーク内の宛先に、1 回の操作でファイルを送信できます。

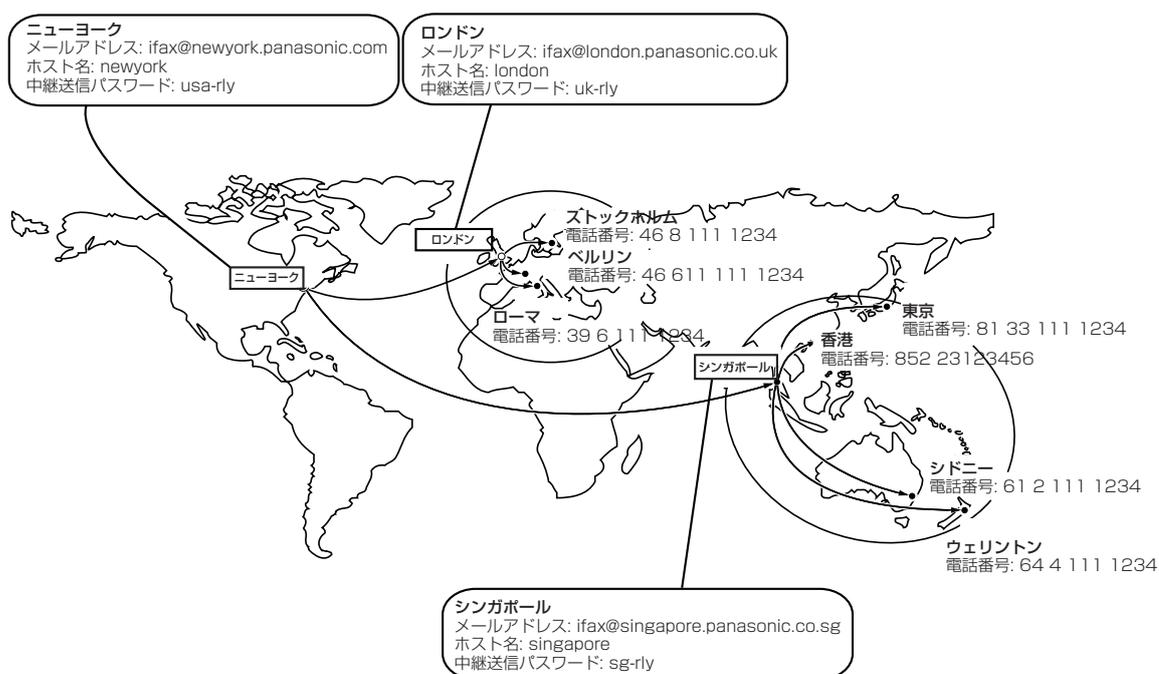


図 1 : ネットワークのサンプル

表 1, 2 および 3 は、図 1 記載のサンプルネットワーク設定です。

表 1 : ニューヨークへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (始発発信局)

電話番号 : 212 111 1234
 メールアドレス (SMTP) : ifax@newyork.panasonic.com
 ホスト名 : newyork
 中継用 パスワード : usa-rly

ワンタッチ/ 短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	ifax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[002]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[003]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[004]	香港	852 23123456	[002]
[005]	シドニー	61 2 111 1234	[002]

表 2 : ロンドンへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (中継局)

電話番号 : 71 111 1234
 メールアドレス (SMTP) : ifax@london.panasonic.co.uk
 ホスト名 : london
 中継用 パスワード : uk-rly

ワンタッチ/ 短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[005]
<03>	シンガポール	ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[001]
[001]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[005]
[003]	香港	852 23123456	[001]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[001]
[005]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---

表 3 : シンガポールへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表 (中継局)

電話番号 : 65 111 1234
メールアドレス (SMTP) : lfax@singapore.panasonic.co.sg
ホスト名 : singapore
中継用 パスワード : sg-rly

ワンタッチ/ 短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	lfax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[005]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[003]	香港	852 23123456	[005]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[005]
[005]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---

お知らせ

1. 本機が中継局として動作するよう、中継用パスワードを登録してください。(●85 ページ)
2. 第 3 者が LAN 中継局送信にアクセスできないようにするため、ネットワークセキュリティを設定してください。すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。(●85 ページ)

LAN 中継送信局としての設定

以下のパラメーターの設定を確実に行って、本機を LAN 中継局に設定してください。(☛31、38 ページ)

1. LAN 中継機能 (システム登録 No.142)

本機を LAN 中継局として機能させるかを選択

- 1) ナシ - LAN 中継動作をしない
- 2) アリ - LAN 中継動作をする

2. 中継結果返送 (システム登録 No.143)

LAN 中継結果を発信元へ返送する設定

- 1) オフ - 送信しない
- 2) 全て - LAN 中継結果全てを送信する
- 3) 未通信 - LAN 中継で未通信となった場合、送信する

3. LAN 中継指示をするときのパスワード (自局登録のインターネットパラメーター) (☛86 ページのお知らせ 1)

LAN 中継指示をするとき、第三者が本機にアクセスするのを防ぐ目的で、パスワード (10 文字まで) を設定します。このパスワードが合った場合のみ、LAN 中継送信します。

4. リレーアドレス (短縮ダイヤル)

LAN 中継局を登録している短縮ダイヤルの 3 桁の番号。

5. 管理者のメールアドレス (自局登録のインターネットパラメーター)

LAN 中継の管理およびコスト管理の目的で、管理者のメールアドレスを登録してください。送信情報は以下の通りです。

(発信者：発信局のメールアドレス)

(宛先：受信者の G3 ファクスの電話番号)

デュアルサーバー機能ありの場合は、メールサーバー1 経由でのみ通知されます。各発信者からの LAN 中継指示を受けると、管理者へメールで通知されます。

LAN 中継同報

6. 中継許可ドメイン名（自局登録のインターネットパラメーター）（☛ お知らせ 2）

10 件のドメイン名（最大 30 文字）まで登録できます。

例：登録ドメイン名

(01): rdnn.mgcs.co.jp

(02): rdmg.mgcs.co.jp

(03): panasonic.com

上記の例で、LAN 中継指示は、rdnn.mgcs.co.jp, rdmg.mgcs.co.jp または panasonic.com のドメイン名を含むメールアドレスからのみ受信可能です。

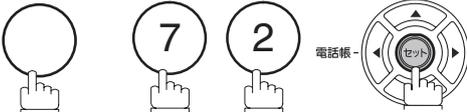
お知らせ

1. LAN 中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含まれて送信するため、メールやインターネットファクスで使っているメールアドレスとは異なるものを登録することをお勧めします。このように登録することで、インターネットファクスを受信したとき、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。
2. ドメイン名がすべて空欄である場合は、インターネットファクスは全てのドメイン名に対して LAN 中継指示を受信します。

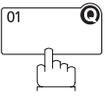
LAN 中継指示の設定

ワンタッチ／短縮ダイヤルへの中継指示の登録

- システム登録の「140 LAN 中継送信指示」をあらかじめ「アリ」に設定しておきます。
 「ナシ」：LAN 中継送信指示することはできません。
 「アリ」：LAN 経由の中継送信指示のみ可能になります。

- 1** **ファンクション**


1: ワンタッチ トウロク
 2: タンシュク トウロク
- 2**
例： 

ワンタッチ < >
 ワンタッチ ヲ オシテタガサイ
- 3** ワンタッチボタン (01-32) を押す
例： 

<01>
 メール アドレス ヲ イレテタガサイ
- 4** **Eメール**
 を押して電話番号の入力モードに切り替える

<01>
 テンワ バンコウ ニュウリョク
- 5** 電話番号を入力する (36 桁まで)
 中継局と最終宛先が両方とも同じ地域に位置する場合は、最終宛先から国番号または市外局番を省略できます。中継局からは、最終宛先まで市内番号通話となります。

<01>
 3961111234■
- 6** 

<01> ナマI ニュウリョク <カ
 3961111234
- 7** 文字ボタン (15 文字まで) を使って、宛先を入力する
例：「ローマ」を入力する。

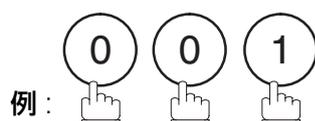
<01> ローマ■ <カ
 3961111234
- 8** 

<01> チュウケイヨクバンコウ ■■■

LAN 中継同報

9 LAN 中継局として登録されている短縮ダイヤルの3桁の番号を入力する

LAN 中継局には、中継局に登録してある LAN 中継用パスワードが登録されている必要があります。



<01> チュウケイヨクバンゴウ
001

10



続けて LAN 中継指示の設定ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには「ストップ」を押します。

ワンタッチ < >
ワンタッチ ヲ オシテクダサイ

LAN 中継送信

本機に必要なすべてのパラメーターを登録すると、以下の手順で LAN 中継局を経由して自動的に 1 つまたは複数の G3 ファクスに原稿を送信できます。LAN 中継局には、必要なパラメーターすべてを必ず設定してください。

中継局をあらかじめ登録してある宛先へ送信する場合

1



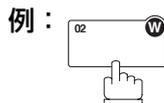
送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレクタ`サイ
スタートヲ オシテクタ`サイ 00%

2

以下のダイヤル方法を任意に組み合わせて、LAN 中継指示が登録されている宛先を指定する

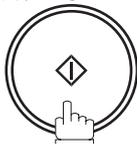
- ワンタッチボタン
 - 短縮ダイヤル
 - 電話帳機能
- (宛先選択後「セット」を押します)



<02> ストックホルム
4681111234

3

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例： 最終宛先： 4681111234
(電話番号)
(☛ お知らせ 1)

中継局： uk-rly@london.panasonic.co.uk

最終宛先に送信を完了後に、本機は中継局から通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したかどうかを確認できます。

* チクセキ シテイマス* NO.001
マイスイ=001 05%

* チクセキ カリヨウ*
ゲンコウ マイスイ=005 25%

* メモリー ソウジン シテイマス*
ID:uk-rly#4681111234

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後「ポーズ」を押してポーズ（" - "からはじまる）を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. # 文字は、中継局のメールアドレスには使用できません。

LAN 中継同報

中継局を登録していない宛先へ送信する場合

1



送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレクダ`サイ
スタートヲ オシテクダ`サイ 00%

2

ファンクション



LAN チュウケイ
チュウケイキョク ヲ イレクダ`サイ

3

以下の方法のうちいずれかにより中継局（1宛先）を指定する

- 直接メールアドレス入力（最初に **Eメール** ボタンを押し、中継局のメールアドレスを入力してください）
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能（☛47～48ページ）

[001] ロンドン チュウケイ
uk-rly@london.panas

例：短縮ダイヤルの「001」を入力する。

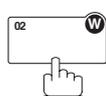
LAN チュウケイ
アテサキ ヲ イレクダ`サイ

4

最終宛先（電話番号のみ）を指定する（複数登録できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能（各宛先選択後 **セット** を押します）
- 直接ダイヤル（各宛先入力後 **セット** を押します）

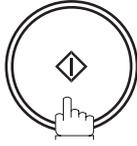
例：



<02> ストックホルム
4681111234

5

スタート



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例： 最終宛先： 4681111234
 (電話番号)
 (● お知らせ 1)

中継局： uk-rly@london.panasonic.co.uk

中継局が最終宛先に送信完了後に、本機は中継局から 通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したかどうかを確認できます。

* チクセキ シティマス * NO.002
 マイスウ=001 05%

* チクセキ カリヨウ *
 ケンゴウ マイスウ=005 25%

* メモリー ソウシン シティマス *
 ID:uk-rly#4681111234

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ (" - " から始まる) を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. # 文字は中継局のメールアドレスには使用できません。

パソコンからの LAN 中継同報指示

Outlook 等の E メールアプリケーションを使って、TIFF 形式のファイルを添付し、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。

この機能をご利用になるには、事前に本機のパラメーター（自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。

同時に DNS サーバーへホスト名登録と、適切な SMTP セキュリティ設定をしていただく必要があります。

DNS サーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問合わせください。

パソコンから中継送信する場合、E メールアプリケーションの宛先（To）に相当するフィールドには次のように入力します。

（例）

sg-rlly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg

もしくは

sg-rlly#*001@singapore.panasonic.co.sg

sg-rlly ：中継用パスワード（自局情報インターネット登録の内容と合致させる）

#8133111234 ：ファクスの電話番号

と @ の間は電話番号の他、ワンタッチボタン、短縮ボタン等の情報を入力することもできます。

PBX（交換機）などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン"-"をファクス番号の部分に入力してください。

#*001 ~ #*300 ：短縮ボタン

#*1001 ~ #*1032 ：ワンタッチボタン

#*2001 ~ #*2008 ：プログラムボタン

@ のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

LAN 中継送信が完了すると、中継結果を通信結果レポートとしてパソコンへ返送します。

これにより、中継結果を確認することができます。

MS - Word、Excel などで作成されたファイルを、LAN 中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。

そのまま *.doc、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換する時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。

400dpi は、あらかじめ受信相手側が 400dpi 処理能力を保有していることがわかっている時に使用します。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能な TIFF ファイル形式へ変換するアプリケーションです。

MAPI アプリケーションは、TIFF ファイルへ変換後、MAPI を使って E メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールアプリケーションと連動することにより、MS - Word、Excel 等のアプリケーションから印刷を行なう感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。

TIFF コンバータ並びに MAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html>

お知らせ

1. # と * 記号は、送信パスワードの後に入れ、最終宛先用の電話番号を続けます。
2. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ（" - " からはじまる）を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。

LAN 中継同報の通信結果

中継送信を使用する場合、中継局は以下の 2 つのレポートを送信し、ファクスのチェックと記録をするのに役立ちます。

1. 中継送信レポート（通信結果レポート）

中継局が最終宛先に送信をした場合、システム登録の「143 中継結果返送」が「全て」または「未通信」に設定されているとき、通信結果レポートを送信します。これで、送信が完了したかどうかを確認できます。

2. 送信ジャーナル

中継局が LAN 中継用に指示を受信する場合、登録されている管理者にメールで通知が送付されます。（☛85 ページ「LAN 中継送信局としての設定」）

中継送信レポート（通信結果レポート） サンプル

```
***** 通信結果レポート ***** yyyy 年 mm 月 dd 日 ***** 15 時 00 分 *****

(1)                (2)                (3)

通信種別 = 中継転送          受付 = mm 月 dd 日 15 時 00 分          完了 = mm 月 dd 日 15 時 00 分 00

    受付番号 = 050 (4)

(5)  (6)                (7)                (8)                (9)

宛先  状況  ワンタッチ／  相手先                枚数                通信時間
NO.   短縮番号

001   R-OK                STOCKHOLM            001/001            00:00:15
002   R-OK                ROMA                  001/001            00:00:15

                                - PANASONIC -

***** - HEAD OFFICE          - ***** - 201 555 1212 - *****
```

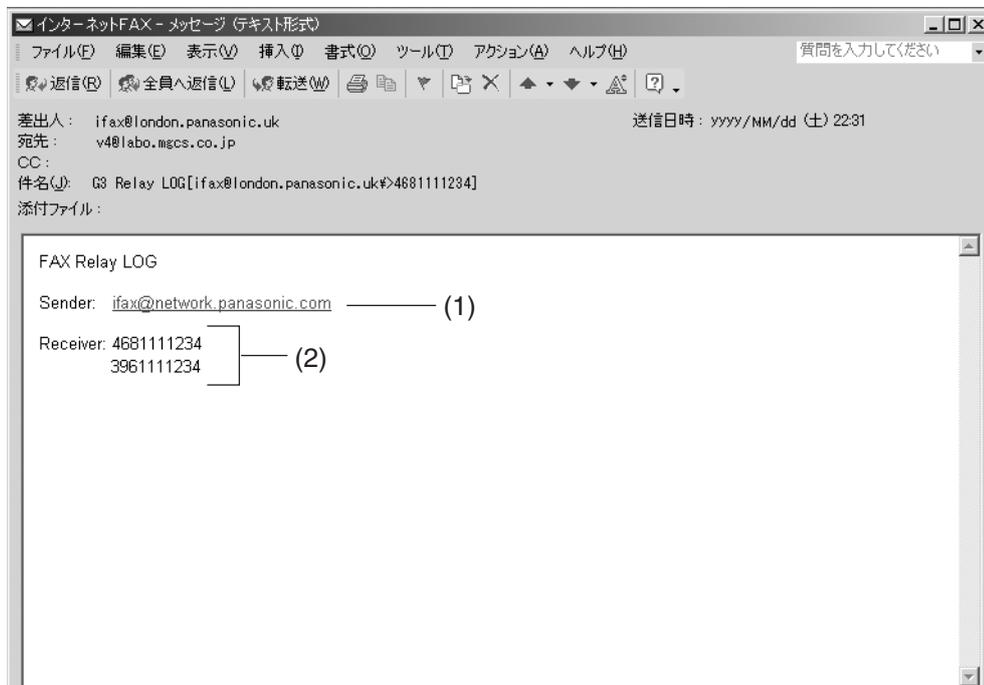
お知らせ

- デュアルサーバーを設定されている場合、LAN 中継指示をサーバー 2 で受信しても、通信結果レポートはサーバー 1 経由で返送されます。（サーバー 2 経由での返送はできません。）

内容の説明

- (1) 通信種別 : 「中継転送」が記載されます。
- (2) 通信受付時間 : 中継同報の受付時間です。
- (3) 通信完了時間 : 中継同報の完了時間です。
- (4) 受付番号 : 001 から 999 まで
- (5) 宛先 No. : レポート上の番号です。
- (6) 状況 : "R-OK" は、LAN 中継送信が完了したことを示します。
4桁のエラーコード(●98 ページ) は、通信がうまくいかなかったことを示します。
- (7) 最終宛先の電話番号，メールアドレスまたは宛先名
- (8) 送信ページ数 : 3桁の数字は、送信が完了したページ数を示します。
- (9) 通信所要時間 : 送信にかかった時間です。

管理者宛メール



内容の説明

- (1) 送信者のインターネットファクス またはパソコンのメールアドレス
- (2) 最終宛先の G3 ファクス 電話番号

メモ

こんなときには

エラーコード

異常が発生したときに、ディスプレイにエラーコードが表示されます。下表に従って原因を特定し、処置を行なってください。

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0401	中継局に受信用パスワードが必要なため、原稿を受信できない。中継局がメールボックスを持たない。中継局が送信側機器の ID 番号 (ファクス番号) を要求している	中継局に確認してください。本機の ID 番号 (ファクス番号) を登録してください。	--
0402	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	--
0403	中継局側にポーリング機能がない	「ポーリング = アリ」を設定するように中継局側に連絡してください。	--
0404/0405	初期手順の途中で、通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	--
0406	送信用パスワードが一致しない。受信用パスワードが一致しない。不正な相手局からセレクト受信モードで受信した	ワンタッチまたは短縮ダイヤルのパスワードまたは電話番号を確認してください。	ファクス編 105 ファクス編 108
0456	* 本機が以下のいずれかの条件のもとで、親展原稿を受信した、または親展原稿のポーリングを要求した。 1. 親展原稿の受信に必要な空きメモリーがない。 2. 親展メールボックスが一杯である。 3. 受信した原稿をプリント中である。 * 本機が原稿の中継を要求されている場合	1. 通信予約レポートをプリントし、その内容を確認してください。 2. 本機がプリントを完了するまで待ってください。	ファクス編 86
0712	メールアドレスの誤り	登録されたメールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0714	LAN にログオンできない	10Base-T/100Base-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットファクスのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ゲートウェイ IP アドレスの初期値、SMTP サーバーの IP アドレスを確認してください。	--
0716	指定した SMTP サーバーにログオンできない	SMTP サーバーの IP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性あり	SMTP サーバーに障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0718	プリントデータ受信時のページメモリーオーバーフロー。用紙力セットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと文字サイズを確認してください。受信側で対応しているサイズと文字サイズで再送してもらうように送信側に連絡してください。	--
0719	LAN 経由で受信したデータ形式が受信側に対応していない	以下に示すような、対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。 * TIFF-F 形式。 * 用紙のサイズに合った画像データ	--

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0720	POPサーバーと接続できない(POPサーバー IP アドレスの誤り)。POP サーバーのダウン	POPサーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0721	POP サーバーに接続できない(ユーザー名またはパスワードのエラー)。	POP ユーザー名とパスワード、または APOP 設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター (例: IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイ IP アドレス) の取得に失敗。	1. LAN ケーブルの接続を確認してください。 2. ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークでDHCPが使用できるか確認してください。使用できない場合は、システム登録 No.169 (DHCP クライアント) を「ナシ」に変更し、他のネットワークパラメーターを手動で設定してください。	--
00725	DNS サーバー接続のタイムアウト。DNS サーバーのダウン	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POP サーバー名を確認してください。SMTP サーバー名を確認してください。	--
0728	送信したデータ (PDF) 形式が受信側に対応していない。 (PDF 形式での送信は、インターネットファクスから PC への送信時のみご利用になれます)	システム登録 No.177 (送信ファイルタイプ) を「TIFF」に設定して送信してください。	40
0729	SMTP サーバーとの接続時に認証 (SMTP AUTHENTICATION) に失敗	SMTP AUTHENT ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
0730	メール経由で PC から遠隔操作で、ジャーナルを取り出せないし、またインターネットパラメーターやワンタッチ/短縮ダイヤルも登録できない	システム登録 No.158 (メールリモート登録) が「アリ」に設定してあるか確認してください。	39
0731	中継送信要求を受けたときに手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯 (70 局)	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	--
0815	メールボックスが一杯		ファクス編 112
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください。	ファクス編 43

お知らせ

1. 原因を特定し、推奨する処置を実施しても、エラーコードが表示されたままになったり上記リストに記載されていないエラーコードが表示された場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
2. システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」のときは、エラーコード先頭の4桁目の番号が3～5 (例: 3xxx) となります。(☛37 ページ)「3」、「4」または「5」が付与される場合は、「IP 電話 - IP 電話発呼」、「IP 電話 - 一般電話発呼」または「一般電話 - 一般電話発呼」の場合によって異なります。

用語集

10Base-T/100Base-TX	イーサネットケーブル規格の一種です。「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り (Twisted) 対の意味で、この規格のケーブルは 2 対の非シールド撚り線からなります。
ADF (自動原稿送り装置)	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読取り部へ送る装置です。
BPS (Bits Per Second)	電話回線経由で送信されるデータ量の単位です。本機は常に最大伝送速度で動作開始しますが、電話回線の状況や受信側機器の能力に応じて伝送速度を自動的に落とします。
DTMF (Dual Tone Multifrequency)	電話機のボタンの各数字を表わすさまざまな組み合わせの周波数を送り出すダイヤル呼出し方式です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼出しを指します。
ECM (Error Correction Mode)	G3 ファクス通信を行なっているときに、通信エラーを訂正する機能です。
FAX/TEL 自動切替	1 つの電話回線でファクスと電話を自動で切替えて使用できます。
FROM 選択	あらかじめプログラム登録してある 24 の送信者名、メールアドレス、または電話番号のうちの 1 つを送信前に選択することができます。
G3 モード (Group 3)	現在最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリです。
IP アドレス	インターネット上に存在するコンピューターなどの住所にあたる数列です。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T	国際電気通信連合電気通信標準化部門。国際電信電話諮問委員会 (旧 C.C.I.T.T.)。
ITU-T (C.C.I.T.T.)	国際電信電話諮問委員会の略称。この機構は現在、ファクシミリ互換性を保証する 4 グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較を可能にする業界標準原稿のことです。
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学などといった隣接エリアに限定された、データの統合および交換のためのコンピューターネットワークシステムです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。LAN 中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名 (@ の左側) の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
LCD	本機の表示をする液晶ディスプレイのことです。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスで、MAC (メディア・アクセス・コントロール) アドレスともいいます。MAC アドレスは設定不可能で、コロン (:) で区切られた 6 つの 16 進数からなります。例: 00:00:c0:34:f1:50
MAPI (Messaging Application Program Interface)	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースです。ワープロ・ソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信することが可能です。
MDN (Message Disposition Notifications)	メールが読まれたかどうかを確認する為に送信側から MDN 要求を付加して送付します。
MIME (Multipurpose Internet Mail Extension)	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、Eメールの通信手順です。
POP (Post Office Protocol)	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
PSTN (Public Switched Telephone Network)	公衆電話交換ネットワークを指します。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークです。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネット上でメールを送受信するための主な通信プロトコルです。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
アクセスコード	第 3 者の不正使用を防止するため、8 桁のアクセスコードを設定できます。
宛先シート	本機のワンタッチに登録してある宛先名をプリントし、ワンタッチボタンシートの下に入れて使います。
宛先名	各ワンタッチ／短縮ダイヤル番号の登録名です。
イーサネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な手段。最大 100 Mbps まで処理が可能で、ほとんどのすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	原稿の各ページを記憶するために本機が利用できるメモリーの量を意味します。ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基に、読み込み可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体。個々のネットワークは接続されて全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成します。
イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワーク。イントラネットでは、公開されているインターネット上と同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードです。
オフフックダイヤル	受話器を受話器台から外して、電話番号をダイヤルする方法です。
オンフックダイヤル	受話器を受話器台に置いたまま、またはモニターボタンを押して電話番号をダイヤルする方法です。
カバーシート	送信する原稿に添付される FAX カバーシート。受信者名、発信者名、添付した原稿のページ数が記載されます。
クライアント	クライアント（端末）コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	1 つのプログラムボタンへ複数宛先を登録できます。1 回の操作で順次同報送信ができます。
固定縮小プリント	すべての着信原稿を一定の縮小率（例：75%）でプリントします。
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先です。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置をさす。メールサーバーソフトウェアはネットワーククライアントがメールアドレスを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
サブアドレス	着信ファクスのルーティング、転送または中継を実行するための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。

用語集

サブネットマスク	ネットワークIDで定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局登録	自局登録をすることで、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。たとえば、ロゴ、文字ID、日時などがあります。
システム登録リスト	本機のシステム登録の設定値をリストにしてプリントできます。
自動縮小プリント	標準サイズの普通紙にプリントできるように、受信した原稿を自動的に縮小する方式。たとえば、B4 サイズの着信原稿を縮小してA4 サイズの用紙にプリントします。
自動受信	ファクスが自動的に原稿を受信します。
受信側パスワード	原稿受信前に照合される4桁のパスワードのことです。
手動受信	着信原稿を受信するのに使用者の操作が必要なモードです。
初期送信側端末局	LAN 中継通信時の発信局です。
数字 ID	相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。
済スタンプ	送信が完了したページ、またはメモリーへ読み込まれたページに済スタンプが押されます。済スタンプのオン、オフは任意に切り替えられます。
正順プリント	受信した原稿を送信した順序でプリントする機能です。
セレクト受信	ダイヤルに登録してある電話番号の下4桁を照合し、一致したファクスからのみ本機が受信する機能です。
送信側パスワード	原稿送信時に照合される4桁のパスワードのことです。
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに送信予約ができます。
送達通知	送信側インターネットファクスから受信側インターネットファクスへ出されるメッセージで送達通知 (MDN) 要求のことです。受信側インターネットファクスは、メッセージ (メール) を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	指定時刻に原稿の送信ができます。
タイマーポーリング	指定時刻にポーリング通信ができます。
ダイレクト SMTP	インターネットファクス同士がメールサーバーを経由せずにファイアーウォール (イントラネット) 内で互いに直接通信を行なう機能です。
短縮ダイヤル	電話番号またはメールアドレスを短縮ダイヤルに登録できます。簡単なボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。
蓄積原稿	本機で読み込み済でメモリーに記憶されている原稿です。
中継アドレス	LAN 中継通信時に中継局に登録している3桁の短縮ダイヤルの番号です。
中継局	中継局では、受信した原稿を指示された宛先へ、順次同報で転送することができます。
中継送信	発信局から原稿を LAN 中継局へ送信すると、中継局はさらにその原稿を最終受信側端末局へ送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
重複プリント	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて2つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号またはメールアドレスをテンキーボタンまたは文字ボタンで入力して直接ダイヤルする方法です。
通信管理レポート	最新の40通信の結果を一覧にしてプリントできます。
低電力モード	指定時間経過後に定着器を OFF にして、待機モードにあるときよりも消費電力を抑えてエネルギーを節約します。
デフォルトゲートウェイ IP アドレス	インターネットファクスとの通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。

テンキーボタン	コントロールパネルにある数字ボタンです。
電話帳機能	ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録した宛先名を検索して、電話番号またはメールアドレスをダイヤルできます。
同報送信	プログラム登録された複数の宛先に同じ原稿を同報通信する機能。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2 台以上のコンピューターを相互に接続してリソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに 2 つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
ネットワークアドレス	ワンタッチ/短縮番号に登録される 4 桁の固有アドレス番号で、中継ネットワーク上にある特定の端末局を識別するのに使います。
濃度	送信する原稿に合わせて読取り明暗感度を設定できます。
パナソニックスーパースムーズ グ	画質を向上する為のパナソニック独自の画像処理技術です。
ハーフトーン	黒から白への最大 64 階調のグレーレベルで表現できます。
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するため、実際にデータを転送する前に、双方の通信方法や条件、プロトコルなどをあらかじめやり取りしておく手順のことです。
ビューモード通信管理	通信管理レポートを出力することなく通信管理の簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ビューモード通信予約ファイル	通信予約レポートを出力することなく通信予約ファイルの簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ファイル	メモリーを使っての送受信を行なったとき作成されます。たとえば、タイマー送信などがあります。
ファンクションボタン	各機能を使うときに押します。
符号化方式	各種機器が使用するデータ圧縮方式。本機は、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
プリント縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小してプリントする方法です。
プログラムボタン	複雑な機能の操作をプログラムボタンに登録したり、複数の宛先を登録して、簡単なボタン操作で機能を使えます。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを校正し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしていきます。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭にプリントする部分です。ヘッダーは、送信側ファクスの情報（日時など）を提供します。
ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名 (FQDN) の最初（左端）の部分となります。 例： 本機のメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ホームページ	ブラウザ起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページ。

用語集

ポーリング	別のファクスから原稿を取り出す機能です。
ポーリングパスワード	登録された 4 桁の暗証番号で、ポーリングが行なわれている原稿に対する機密保護を有効にするのに使います。
マルチロゴ	あらかじめ設定してある 25 個のロゴのうちの 1 つを送信前に選択することができます。
メモリー送信	原稿をメモリーに読み込んでから送信します。
メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに着信原稿をメモリーに蓄積する機能です。
メモリー転送	指定した短縮ダイヤルの宛先へ、全ての着信ファクスを転送する機能です。
メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスです。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。
メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのアドレス。本製品はあらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行ないます。
メールリングリスト	あるアドレスにメールを送り、自動的にメールリングリストに登録されている複数の人に E メールのコピーを送るためのメールアドレスです。
文字 ID	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。
文字サイズ	送信する原稿の文字の大きさに合わせ、変更できます。
文字ボタン	各種登録をするときに文字または記号を入力するためのボタン。
モデム	本機から出された信号を電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置です。
ルーター（ゲートウェイ）	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
留守番電話機インタフェース	本機に留守番電話機を接続してご使用できるように設定できます。
ロゴ	会社名または名前などを登録します。
ワンタッチボタン	電話番号またはメールアドレスをワンタッチに登録できます。1 つのボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



インターネットファクス通信の相互接続試験をクリア

W-NET FAX とは TTC 標準 JT-T37 に適合したインターネットファクシミリの呼称です。相互接続試験（HATS 推進会議実施）を正しく処理された製品に使用します。

本取扱説明書は、従来の一般加入回線等での通信に加え、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクスについての取扱説明書です。

※ ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

本書の説明は Microsoft® Windows® XP 日本語版、Windows Server® 2003/2003 R2 日本語版、Windows Vista® 日本語版、Windows Server® 2008/2008 R2 日本語版、Windows® 7 日本語版、Windows® 8 日本語版、Windows Server® 2012 日本語版を前提として表記していません。

本書中で使用している次の用語は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、及び Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

Adobe 及び Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

- ・パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番 UF-6030
販売店名	電話 () -	
サービス 実施会社名	電話 () -	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

DD0913AN0
PNQX6516ZA
September 2013
Published in Japan